



**MFX-C3690N/C3090N/C2590N**

**ユーザーズガイド**

**アクセシビリティ編**

# もくじ

本書について .....	もくじ -3
--------------	--------

## 1 拡大表示機能を使う

1.1	拡大表示機能について .....	1-2
	拡大表示について .....	1-2
	拡大表示のトップメニューについて .....	1-3
	拡大表示のアイコンの見かた .....	1-4
1.2	ログイン画面について .....	1-5
	本機にログインする .....	1-5
	ユーザー認証（本体装置認証）を実施する .....	1-5
	ユーザー認証（外部サーバー認証）を実施する .....	1-7
	部門認証を実施する .....	1-9
	操作権限を選択してログインする .....	1-11
1.3	コピー機能を使う .....	1-12
1.3.1	コピーする .....	1-12
	コピーする（基本的な操作の流れ） .....	1-12
	1 部だけお試しコピーする（確認コピー） .....	1-14
1.3.2	コピーの各種設定（〔基本設定〕） .....	1-17
	コピーの色を選ぶ（〔カラー〕） .....	1-17
	コピー用紙のサイズや種類を選ぶ（〔用紙〕） .....	1-18
	原稿画像を任意の倍率で拡大／縮小する（〔倍率〕） .....	1-21
	両面コピー／ページ集約をする（〔両面／ページ集約〕） .....	1-22
	コピーした用紙を仕分ける（〔仕上り〕） .....	1-23
	原稿をセットした方向のまま回転させずにコピーする（〔自動画像回転〕） .....	1-24
1.3.3	コピーの各種設定（〔原稿／濃度〕） .....	1-24
	原稿のとじしろを指定する（〔原稿のとじしろ〕） .....	1-24
	原稿の内容に適した画質を選ぶ（〔原稿画質〕） .....	1-25
	原稿をセットした方向を指定する（〔原稿セット方向〕） .....	1-26
	コピー濃度を調整する（〔濃度〕） .....	1-26
	原稿の下地の濃度を調整する（〔下地調整〕） .....	1-27
	異なるサイズの原稿をまとめて読み込む（〔混載原稿〕） .....	1-27
	折りぐせのある原稿を読み込む（〔Z 折れ原稿〕） .....	1-28
1.4	ファクス／スキャン機能を使う .....	1-29
1.4.1	送信する .....	1-29
	送信する（基本的な操作の流れ） .....	1-29
	ファクス／スキャンプログラムを呼出して送信する .....	1-31
1.4.2	宛先の指定 .....	1-33
	登録宛先から選ぶ .....	1-33
	履歴から選ぶ .....	1-33
	メールアドレスを LDAP サーバーから検索する .....	1-34
	ファクス番号を直接入力する .....	1-35
1.4.3	ファクス／スキャン送信のオプション設定 .....	1-35
	原稿の両面を読み込む（〔片面／両面〕） .....	1-35
	原稿の内容に適した画質を選ぶ（〔原稿画質〕） .....	1-36
	原稿を読み込む解像度を設定する（〔解像度〕） .....	1-37
	原稿を読み込む濃度を調整する（〔濃度〕） .....	1-37
	読み込んだ原稿データのファイル形式を設定する（〔ファイル形式〕） .....	1-38
	原稿を読み込むカラーモードを選ぶ（〔カラー〕） .....	1-39
	読み込む原稿のサイズを設定する（〔読み込みサイズ〕） .....	1-40
	読み込む原稿の下地の濃度を調整する（〔下地調整〕） .....	1-41
	原稿をセットした方向を指定する（〔原稿セット方向〕） .....	1-41
	原稿のとじしろを指定する（〔原稿のとじしろ〕） .....	1-42

## 2 操作パネルの角度を変える



### 3 ユニバーサル機能を使う

3.1	[ユニバーサル設定] について .....	3-2
3.2	タッチパネルを調整する .....	3-4
	タッチパネルの明るさを調整する .....	3-4
	連続タップ時の動作を設定する .....	3-4
3.3	操作音やメッセージ表示の設定をする .....	3-5
	キー操作音や警告音の設定をする .....	3-5
	メッセージの表示時間を変更する .....	3-8
	画面の表示色を反転する .....	3-8
3.4	拡大表示の動作を設定する .....	3-9
	拡大表示の初期値を変更する .....	3-9
	拡大表示に切換えるときに確認画面を表示する .....	3-10
	拡大表示が解除されるときに確認画面を表示する .....	3-11
	設定内容がリセットされるときに確認画面を表示する .....	3-12
	キーの長押しで入力するときの時間を調整する .....	3-13

### 4 音声ガイドを使う

---

## 本書について

本書の説明は、以下のモデルを対象としています。

**MFX-C3690N/C3090N/C2590N**

(ただし、本書には bizhub C658/C558/C458 の説明が一部含まれています。)



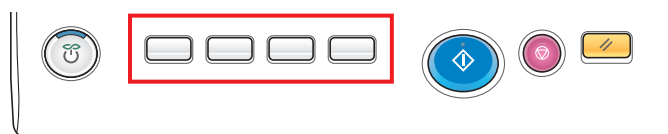
拡大表示機能を使う

# 1 拡大表示機能を使う

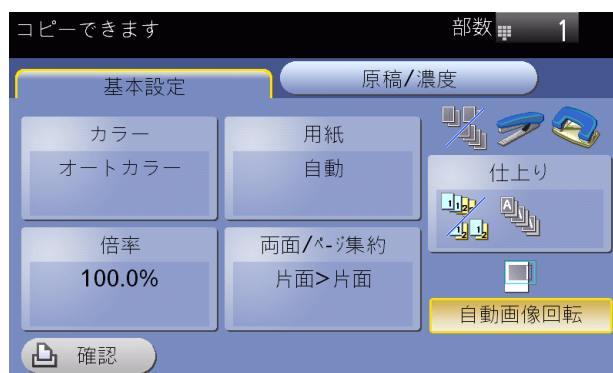
## 1.1 拡大表示機能について

### 拡大表示について

拡大表示（初期値：登録キー 1）を押すと、タッチパネルの文字を大きく表示します。



よく使う機能を中心にレイアウトを組替えて表示するため、通常の画面表示が見にくい方でも、分かりやすく操作できます。通常の画面表示に戻すときは、再度**拡大表示**を押します。



### 参照

必要に応じて、拡大表示の初期値の変更や設定などができます。詳しくは、3-9 ページをごらんください。

必要に応じて、画面の色を反転させることができます。詳しくは、3-8 ページをごらんください。

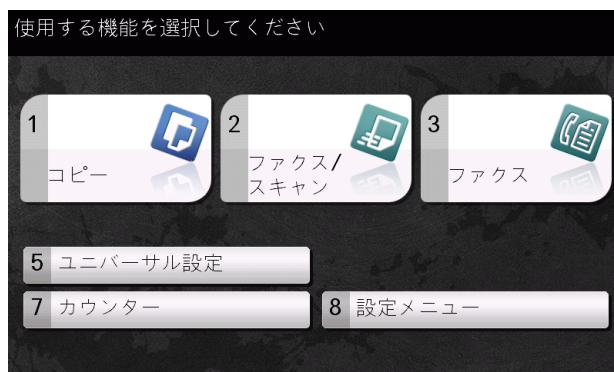


### 関連設定（管理者向け）

- タッチパネルの初期表示を、拡大表示にするかどうかを選べます（初期値：[しない]）。詳しくは、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

## 拡大表示のトップメニューについて

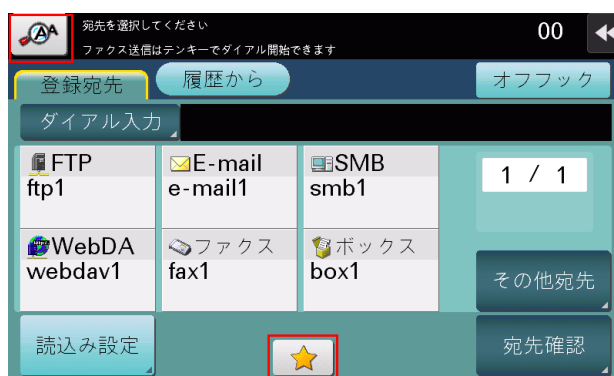
拡大表示中に操作パネルのメニューを押すと、トップメニューを表示します。トップメニューから、各機能や設定画面へ切換えることができます。







名前	説明
[コピー]	コピーモードのトップ画面を表示します。 詳しくは、1-12 ページをごらんください。
[ファクス / スキャン]	ファクス / スキャンモードのトップ画面を表示します。 詳しくは、1-29 ページをごらんください。
[ファクス]	<p>ファクスモードのトップ画面を表示します。 ファクスモードは、ファクス / スキャンモードに備わっている機能のうち、ファクスに関連する機能を集約したモードです。ファクスを利用するときに、より手早く目的の機能呼び出すことができます。 ファクスモードには、以下の特長があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宛先を登録宛先から選択する画面に、ファクス送信の宛先だけが表示されます。E-mail 送信など他の種類の宛先は表示されないため、ファクスの宛先が見つけやすくなります。</li> <li>トップ画面や応用設定画面に、ファクス用の機能だけが表示されます。ファクスを使うための設定機能が探しやすくなります。</li> </ul> <p>本書ではファクスの操作方法については、ファクス / スキャンモードを使って説明しています。 この機能を使うには、オプションの FAX キットが必要です。</p>
[ユニバーサル設定]	タッチパネルの調整や、キー操作音の変更など、操作パネルの使用環境を設定できます。 詳しくは、3-2 ページをごらんください。
[Language]	パネルの表示言語を一時的に切換えます。 [言語一時変更] が [使用する] に設定されている場合に表示されます。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
[カウンター]	本機で印刷したページ数の累計を機能別に集計した情報を表示します。 詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [カウンター / Eco 指標を確認する]」をごらんください。
[設定メニュー]	本機の設定をしたり、本機の使用状況を確認したりできます。 詳しくは、「ユーザーズガイド [操作パネルについて] / [タッチパネルの操作と主な画面の紹介]」をごらんください。

## 拡大表示のアイコンの見かた

拡大表示では、次のアイコンが表示されます。



アイコン	説明
	アイコンをタップすると、表示されているメッセージを拡大表示します。
	印刷エラーに関するメッセージがあることを示します。アイコンをタップしてメッセージを確認し、エラーの処理を行ってください。
	消耗品の交換や装置の点検に関するメッセージがあることを示します。アイコンをタップしてメッセージを確認し、交換や点検を行ってください。
	ファクス/スキャンプログラムを呼出します。



## 1.2 ログイン画面について

### 本機にログインする

本機でユーザー認証や部門管理を導入している場合は、タッチパネルにログイン画面を表示します。

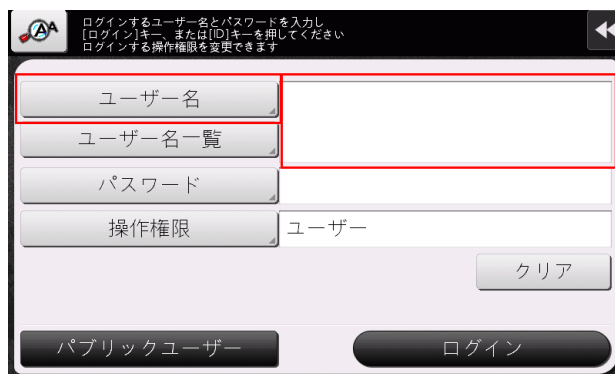
ログイン画面で、ユーザー／部門の名前とパスワードを入力し、[ログイン] をタップするか、または ID を押すと、認証を実施します。目的の操作が終わったら ID を押し、ログアウトします。



### ユーザー認証（本体装置認証）を実施する

ユーザー名とパスワードを入力し、ユーザー認証を実施します。本機の認証設定によって、ログイン画面の表示が異なることがあります。

- 1 [ユーザー名] またはその入力エリアをタップしてユーザー名を入力し、[OK] をタップします。
  - パブリックユーザー（登録されていないユーザー）の使用を許可している場合は、[パブリックユーザー] をタップすると、ログインできます。



- ログイン画面に、[ユーザー名一覧] を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
- [ユーザー名一覧] をタップすると、ユーザー名の一覧を表示して、ログインするユーザーを選べます。
- 登録ユーザーに管理者権限やボックス管理者権限が付与されている場合は、操作権限を選択してログインできます。ログイン方法について詳しくは、1-11 ページをごらんください。

- 2 [パスワード] またはその入力エリアをタップしてパスワードを入力し、[OK] をタップします。

- 3 [ログイン] をタップするか、または ID を押し、本機にログインします。
- ユーザー認証と部門管理を導入し、ユーザー認証と部門管理が連動していない場合は、このあと部門認証が必要です。詳しくは、1-9 ページをごらんください。
  - ユーザー認証と部門管理が連動している場合は、部門認証は不要です。認証に成功すると、本機にログインします。
- 4 目的の操作が終わったら、ID を押してログアウトします。
- ログイン中に本機を操作しない時間がしばらく続くと（初期値：[1] 分）、自動的にログアウトします。
- 5 [はい] を選び、[OK] をタップします。

- ログアウトの確認画面を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示する]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

## ユーザー認証（外部サーバー認証）を実施する

ユーザー名とパスワードを入力し、認証を実施するサーバーを選びます。本機の認証設定によって、ログイン画面の表示が異なることがあります。

- 1 [ユーザー名] またはその入力エリアをタップしてユーザー名を入力し、[OK] をタップします。
  - パブリックユーザー（登録されていないユーザー）の使用を許可している場合は、[パブリックユーザー] をタップすると、ログインできます。

ログインするユーザー名とパスワードを入力し  
[ログイン]キー、または[ID]キーを押してください  
ログインする操作権限を変更できます

ユーザー名

ユーザー名一覧

パスワード

サーバー名称 External1

/ ↓ ↑

クリア

パブリックユーザー ログイン

- ログイン画面に、[ユーザー名一覧] を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
- [ユーザー名一覧] をタップすると、ユーザー名の一覧を表示して、ログインするユーザーを選べます。
- 登録ユーザーに管理者権限やボックス管理者権限が付与されている場合は、操作権限を選択してログインできます。ログイン方法について詳しくは、1-11 ページをごらんください。

- 2 [パスワード] またはその入力エリアをタップしてパスワードを入力し、[OK] をタップします。

ログインするユーザー名とパスワードを入力し  
[ログイン]キー、または[ID]キーを押してください  
ログインする操作権限を変更できます

ユーザー名 user1

ユーザー名一覧

パスワード

サーバー名称 External1

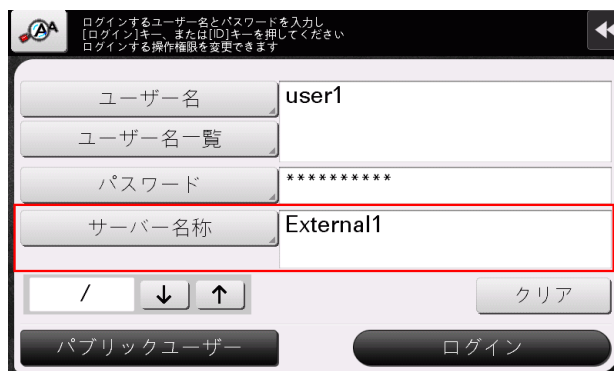
/ ↓ ↑

クリア

パブリックユーザー ログイン

- 3 複数の認証サーバーをお使いの場合は、[サーバー名称] またはその入力エリアをタップし、認証を実施するサーバーを選びます。

→ 初期設定では、初期値として登録されている認証サーバーが選ばれています。



- 4 [ログイン] をタップするか、または ID を押し、本機にログインします。

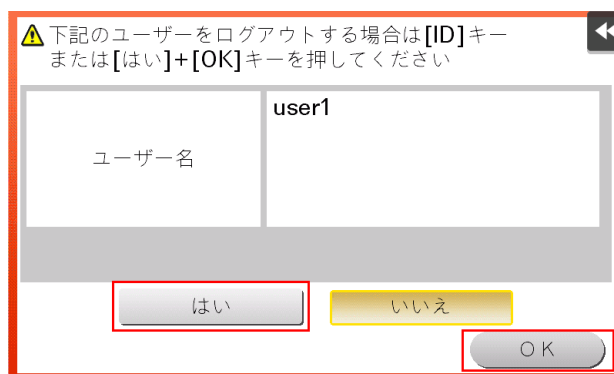
→ ユーザー認証と部門管理を導入し、ユーザー認証と部門管理が連動していない場合は、このあと部門認証が必要です。詳しくは、1-9 ページをごらんください。

→ ユーザー認証と部門管理が連動している場合は、部門認証は不要です。  
認証に成功すると、本機にログインします。

- 5 目的の操作が終わったら、ID を押してログアウトします。

→ ログイン中に本機を操作しない時間がしばらく続くと（初期値：[1] 分）、自動的にログアウトします。

- 6 [はい] を選び、[OK] をタップします。



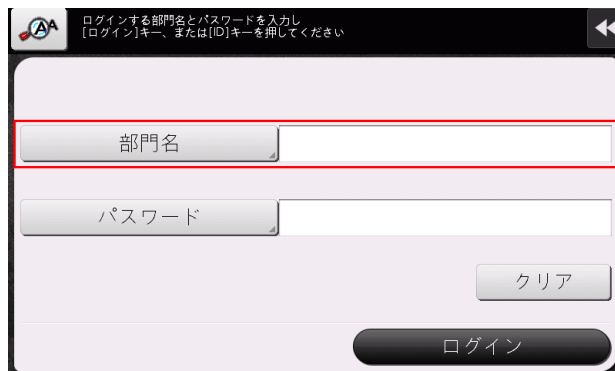
→ ログアウトの確認画面を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示する]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

## 部門認証を実施する

部門名とパスワードを入力し、部門認証を実施します。本機の認証設定によって、ログイン画面の表示が異なることがあります。

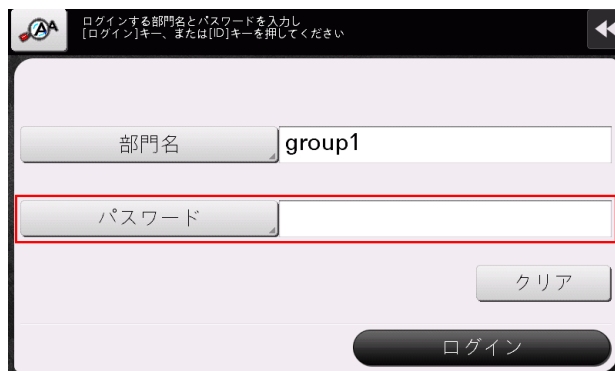
- ✓ ユーザー認証と部門管理を導入し、ユーザー認証と部門管理が連動していない場合は、先にユーザー認証を実施します。本体装置認証を実施する場合は、1-5 ページをごらんください。外部サーバー認証を実施する場合は、1-7 ページをごらんください。
- ✓ ユーザー認証と部門管理が連動している場合は、部門認証は不要です。

- 1 [部門名] またはその入力エリアをタップして部門名を入力し、[OK] をタップします。  
→ パスワードだけで部門認証を実施する場合は、[パスワード] またはその入力エリアをタップし、パスワードを入力します。



The screenshot shows a login interface with a title bar containing a logo and the text "ログインする部門名とパスワードを入力し [ログイン]キー、または[ID]キーを押してください". Below the title bar, there are two input fields: "部門名" (Department Name) and "パスワード" (Password). The "部門名" field is highlighted with a red rectangular box. To the right of the "パスワード" field is a "クリア" (Clear) button. At the bottom right is a large "ログイン" (Login) button.

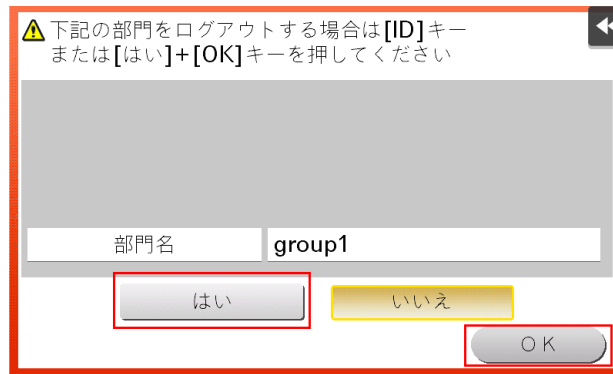
- 2 [パスワード] またはその入力エリアをタップしてパスワードを入力し、[OK] をタップします。



The screenshot shows the same login interface as before, but now the "パスワード" (Password) field is highlighted with a red rectangular box. The "部門名" field now contains the text "group1". The "クリア" (Clear) button and the "ログイン" (Login) button are still visible.

- 3 [ログイン] をタップするか、または ID を押し、本機にログインします。  
認証に成功すると、本機にログインします。
- 4 目的の操作が終わったら、ID を押してログアウトします。  
→ ログイン中に本機を操作しない時間がしばらく続くと（初期値：[1] 分）、自動的にログアウトします。

## 5 「はい」を選び、「OK」をタップします。

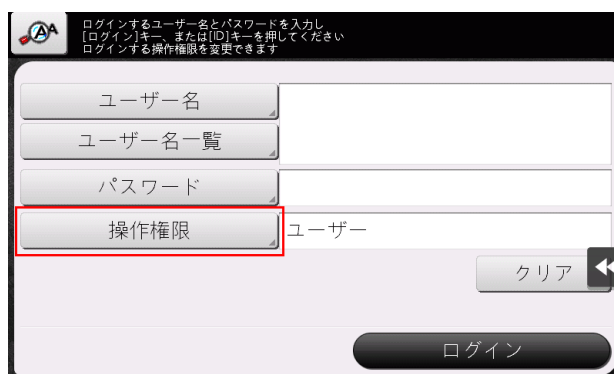


→ ログアウトの確認画面を表示するかどうかを選べます（初期値：「表示する」）。詳しくは、「ユーザーズガイド」[機能 / 設定キーの説明] / 「設定メニュー」をごらんください。

## 操作権限を選択してログインする

登録ユーザーに管理者権限やボックス管理者権限が付与されている場合は、操作権限を選択してログインできます。本機の認証設定によって、ログイン画面の表示が異なることがあります。

- 1 「操作権限」をタップし、ログインするユーザーの操作権限を選びます。
  - 登録ユーザーとしてログインする場合は、「ユーザー」を選びます。
  - 管理者としてログインする場合は、「管理者」を選びます。
  - ボックス管理者としてログインする場合は、「ボックス管理者」を選びます。ボックス管理者について詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。



- 2 「ユーザー名」の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップします。
  - ログイン画面に、「ユーザー名一覧」を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
  - 「ユーザー名一覧」をタップすると、ユーザー名の一覧を表示して、ログインするユーザーを選べます。
- 3 「パスワード」またはその入力エリアをタップしてパスワードを入力し、「OK」をタップします。
- 4 「ログイン」をタップするか、または ID を押し、本機にログインします。
- 5 目的の操作が終わったら、ID を押してログアウトします。
  - ログイン中に本機を操作しない時間がしばらく続くと（初期値：[1] 分）、自動的にログアウトします。
- 6 「はい」を選び、「OK」をタップします。
  - ログアウトの確認画面を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示する]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。



### 参考

- 「操作権限」で「管理者」または「ボックス管理者」を選択してログインした場合、登録ユーザーに設定された機能制限および印刷枚数の上限は解除されます。
- 「操作権限」で「管理者」を選択してログインした場合、管理者パスワードなしで管理者設定を表示できます。

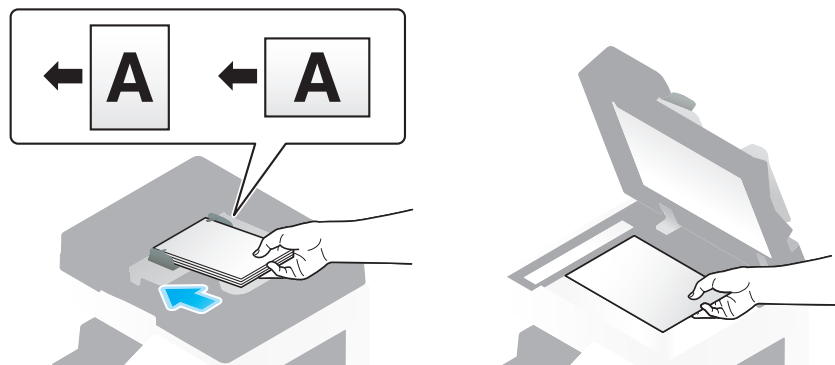
## 1.3 コピー機能を使う

### 1.3.1 コピーする

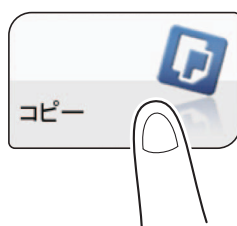
#### コピーする（基本的な操作の流れ）

拡大表示での基本的なコピーのしかたを説明します。

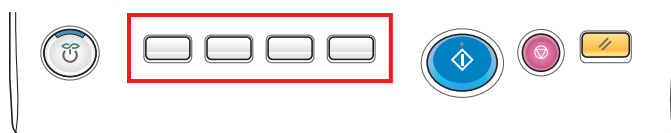
1 原稿をセットします。



2 「コピー」をタップします。

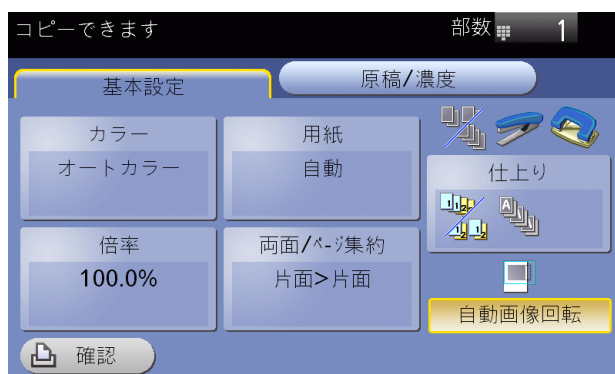


3 拡大表示（初期値：登録キー 1）を押します。

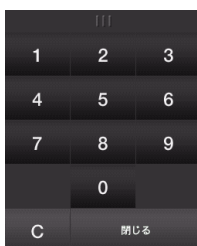




- 4 必要に応じて、コピーの各種設定をします。
- コピーしたときの仕上りの設定をしたい場合は、1-17 ページをごらんください。
  - コピーする原稿の設定をしたい場合は、1-24 ページをごらんください。
  - 各種設定をやり直したいときは、リセットを押します。



- 5 必要に応じて、テンキーで部数を入力します。
- テンキーは、部数をタップすると表示されます。
  - 10 キー呼び出し（初期値：登録キー 3）を押すとタッチパネルにテンキーを表示して入力できます。
  - 部数の入力をやり直したいときは、[C]（クリア）をタップします。



- 6 スタートを押します。



- 原稿が読みまれ、コピーが開始されます。
- 原稿の読み込み中や印刷中にストップを押すと、処理を停止し、停止中のジョブの一覧を表示します。操作を中止したいときは、一覧から停止中のジョブを削除します。
  - 印刷中に、[コピー予約できます。] と表示されたら、次の原稿を読み込むことができます。



#### 参照

必要に応じて、拡大表示の初期値の変更や設定などができます。詳しくは、3-9 ページをごらんください。

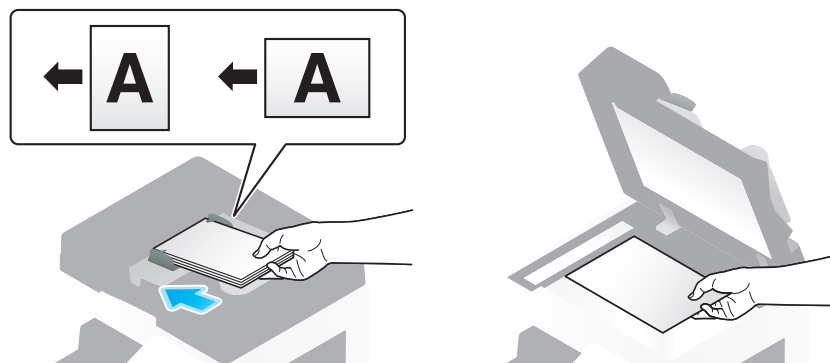
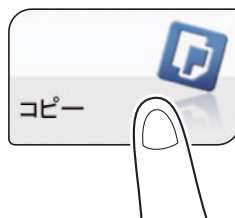
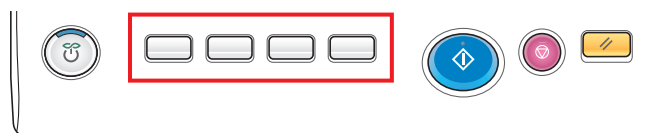
**関連設定（管理者向け）**

- タッチパネルの初期表示を、拡大表示にするかどうかを選べます（初期値：[しない]）。詳しくは、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

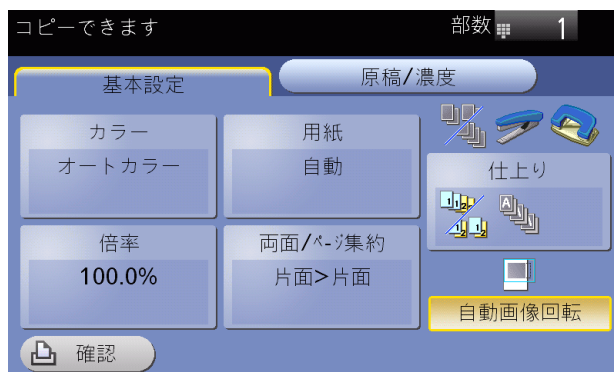
**1 部だけお試しコピーする（確認コピー）**

先に 1 部だけコピーして仕上がりを確認してからコピーできます。

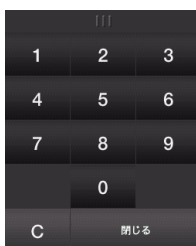
大量の部数をコピーするときは、確認コピー機能を使うことで、大量のミスコピーを未然に防ぐことができます。

**1 原稿をセットします。****2 [コピー] をタップします。****3 拡大表示（初期値：登録キー 1）を押します。**

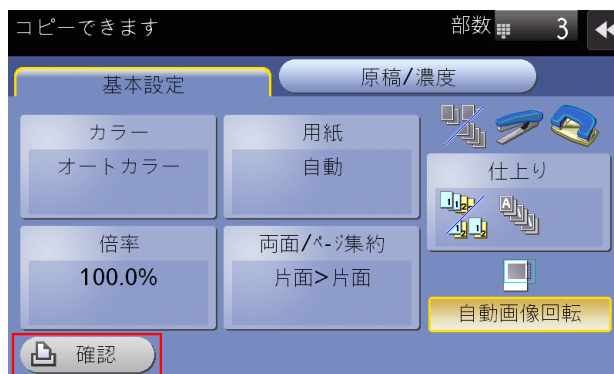
- 4 必要に応じて、コピーの各種設定をします。
- コピーしたときの仕上りの設定をしたい場合は、1-17 ページをごらんください。
  - コピーする原稿の設定をしたい場合は、1-24 ページをごらんください。
  - 各種設定をやり直したいときは、リセットを押します。



- 5 テンキーで部数を入力し、[OK] をタップします。
- テンキーは、部数をタップすると表示されます。
  - 10 キー呼び出し（初期値：登録キー 3）を押すとタッチパネルにテンキーを表示して入力できます。
  - 部数の入力をやり直したいときは、[C]（クリア）をタップします。



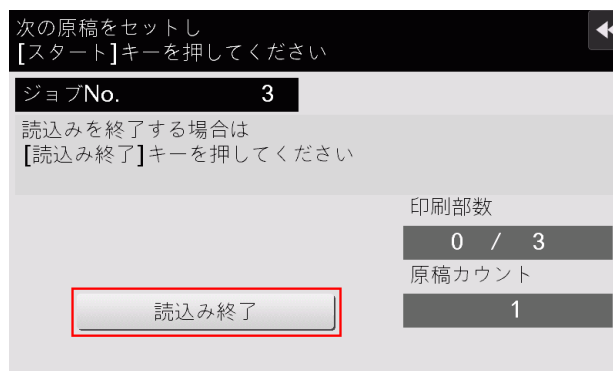
- 6 [確認] をタップするか、またはプレビュー（初期値：登録キー 4）を押します。



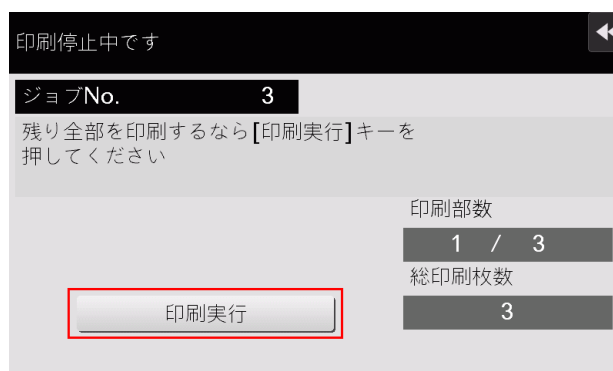
- ADF に原稿をセットした場合は、1 部コピーされます。手順 10 に進みます。
- 原稿ガラスに原稿をセットした場合は、手順 7 に進みます。

- 7 次の原稿をセットし、スタートを押します。

- 8 すべての原稿を読み込み終わったら、「読み込み終了」をタップします。



- 9 スタートを押します。  
1部だけコピーが開始されます。
- 10 コピー結果を確認します。  
→ コピーの各種設定や、部数の入力をやり直したいときは、ストップを押します。  
→ 操作を中止したいときは、リセットを押して設定を解除します。
- 11 残りの部数のコピーを開始する場合は、「印刷実行」をタップします。



残りの部数のコピーが開始されます。

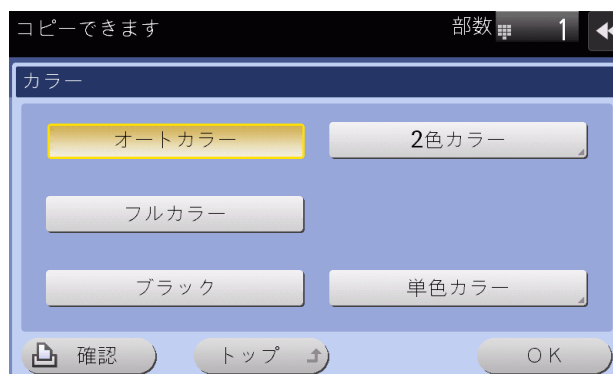
## 1.3.2 コピーの各種設定（「基本設定」）

### コピーの色を選ぶ（「カラー」）

選んだ色でコピーします。

カラー機能には、原稿の色に合わせてコピーする「オートカラー」のほか、「フルカラー」、「2 色カラー」、「単色カラー」、「ブラック」があります。

➔ 「基本設定」 - 「カラー」をタップします。



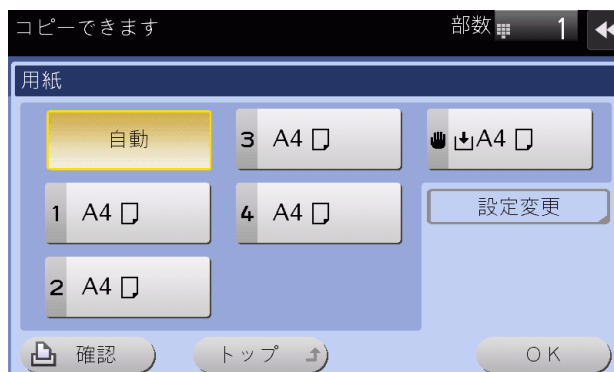
設定	説明
「オートカラー」	読込んだ原稿の色に合わせて自動的に「フルカラー」または「ブラック」を選んでコピーします。
「2 色カラー」	指定した 2 色でコピーします。フルカラーよりも、コストを抑えたカラーコピーができます。 読込んだ原稿の中で、カラーと判断した領域が指定した色でコピーされ、ブラックと判断した領域がブラックでコピーされます。
「フルカラー」	読込んだ原稿の色に関わらずフルカラーでコピーします。
「ブラック」	読込んだ原稿の色に関わらずモノクロでコピーします。
「単色カラー」	指定した 1 色でコピーします。フルカラーよりも、コストを抑えたカラーコピーができます。 原稿上の色の違い（目で見えた色の濃さ）と階調レベルを単色カラーの濃淡差としてコピーします。

## コピー用紙のサイズや種類を選ぶ（〔用紙〕）

本機は、検知した原稿のサイズに合わせて自動的に用紙を選んでコピーしますが、原稿と異なるサイズや用紙の種類を指定してコピーすることもできます。

また、給紙トレイにセットされている用紙のサイズと種類の設定を変更できます。

➔ 〔基本設定〕 - 〔用紙〕 をタップします。


































設定	説明
〔自動〕	原稿サイズに合った用紙を自動的に選んでコピーします。
〔1〕 ～ 〔4〕	トレイ 1 ～ トレイ 4 にセットされた用紙を指定してコピーします。
〔L〕	大容量給紙ユニットにセットされた用紙にコピーします。
〔☞〕	手差しトレイにセットされた用紙にコピーします。
〔設定変更〕	必要に応じて、選んだ給紙トレイにセットされている用紙のサイズと種類の設定を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〔用紙種類〕：選んだ給紙トレイにセットされている用紙の種類を選びます。</li> <li>・ 〔用紙サイズ〕：選んだ給紙トレイにセットされている用紙のサイズを選びます。</li> </ul> 〔自動検出〕を選ぶと、セットされている用紙のサイズを自動的に検出します。

給紙トレイの用紙が少なくなると、用紙残量を示すアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	給紙トレイにセットされている用紙が、残り少ないことを示します。
	給紙トレイに用紙がセットされていないことを示します。

給紙トレイに普通紙、再生紙以外の用紙が設定されている場合は、用紙種類を表すアイコンが表示されます。

アイコン	用紙種類
	片面専用用紙
	薄紙
	特殊紙
	厚紙 1
	厚紙 1+
	厚紙 2
	厚紙 3
	厚紙 4
	OHP フィルム
	レターヘッド紙
	色紙
	封筒
	インデックス紙
	ユーザー紙 1
	ユーザー紙 2
	ユーザー紙 3

アイコン	用紙種類
	ユーザー紙 4
	ユーザー紙 5
	ユーザー紙 6
	普通紙（両面 2 面目）
	厚紙 1（両面 2 面目）
	厚紙 1+（両面 2 面目）
	厚紙 2（両面 2 面目）
	厚紙 3（両面 2 面目）
	厚紙 4（両面 2 面目）
	ユーザー紙 1（両面 2 面目）
	ユーザー紙 2（両面 2 面目）
	ユーザー紙 3（両面 2 面目）
	ユーザー紙 4（両面 2 面目）
	ユーザー紙 5（両面 2 面目）
	ユーザー紙 6（両面 2 面目）



#### 参考

- ユーザー紙は、坪量やメディア調整の設定が登録された専用紙です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

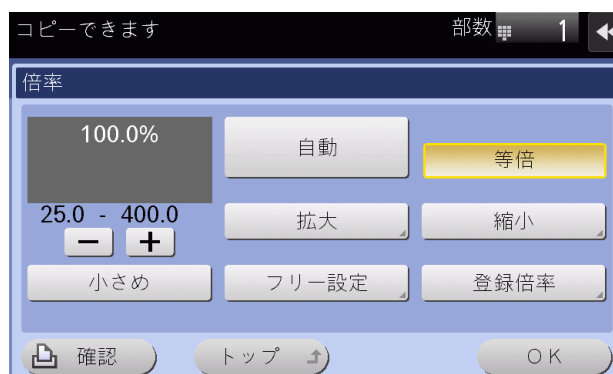


## 原稿画像を任意の倍率で拡大／縮小する（〔倍率〕）

指定した倍率で画像を拡大または縮小してコピーします。

倍率の指定は、原稿サイズと用紙サイズから自動設定する方法、あらかじめ登録された倍率から指定する方法、任意の倍率を入力して指定する方法があります。

➔ 〔基本設定〕 - 〔倍率〕 をタップします。

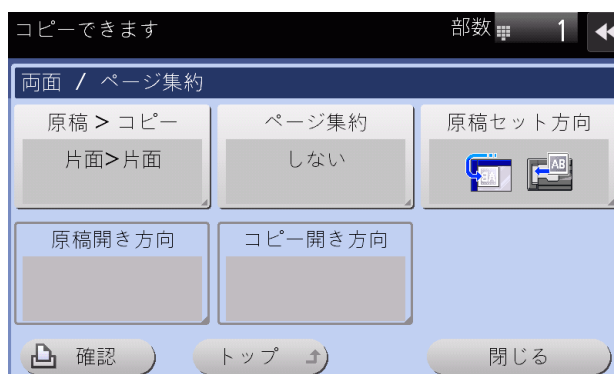


設定	説明
〔自動〕	原稿の画像を用紙サイズに合わせて、自動的に最適な倍率でコピーします。倍率を指定する必要がなく便利です。
〔等倍〕	原稿の画像を原寸（等倍）でコピーします。
〔拡大〕	定形サイズ of 原稿から定形サイズ of 用紙に拡大コピーするときに、あらかじめ固定された倍率を選びます。
〔縮小〕	定形サイズ of 原稿から定形サイズ of 用紙に縮小コピーするときに、あらかじめ固定された倍率を選びます。
〔小さめ〕	原稿のサイズを少し縮小したあと、原稿の画像を中央に配置してコピーします。原稿の端の画像が欠けないようにコピーしたいときに選びます。
〔フリー設定〕	任意の倍率をテンキーで入力します。
〔登録倍率〕	登録されている倍率でコピーします。

## 両面コピー／ページ集約をする（「両面／ページ集約」）

原稿を用紙の両面にコピーします。また、2 ページ分の原稿を、1 枚の用紙の同じ面に縮小してコピーします。

➔ 「基本設定」 - 「両面／ページ集約」をタップします。

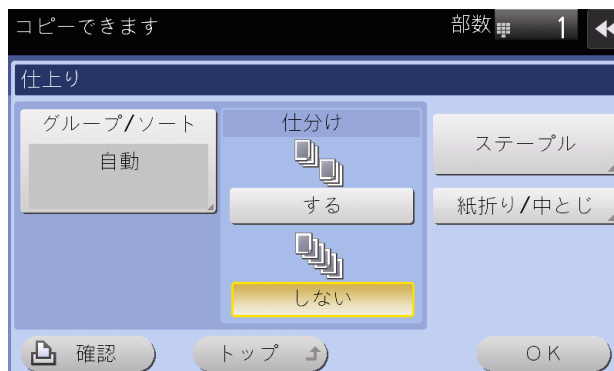


設定	説明
「原稿 > コピー」	セットする原稿（片面原稿／両面原稿）と、コピー方法（片面コピー／両面コピー）の組合わせを選びます。 両面原稿を読み込む場合は、「原稿開き方向」で原稿が上開きか左右開きかを指定します。両面コピーする場合は、「コピー開き方向」でコピーが上開きか左右開きかを指定します。
「ページ集約」	2 ページ分の原稿を、1 枚の用紙の同じ面に縮小してコピーするかどうかを選びます。
「原稿セット方向」	セットした原稿の向きを指定します。
「原稿開き方向」	両面原稿をセットしたときの、原稿の開き方向を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自動」：原稿の開き方向が自動で設定されます。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺に開き方向を設定します。原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺に開き方向を設定します。</li> <li>・「上開き」：原稿の上側にとじしろがあるときに選びます。</li> <li>・「左開き」：原稿の左側にとじしろがあるときに選びます。</li> <li>・「右開き」：原稿の右側にとじしろがあるときに選びます。</li> </ul>
「コピー開き方向」	両面コピーするときの開き方向を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自動」：コピーの開き方向が自動で設定されます。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺に開き方向を設定します。原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺に開き方向を設定します。</li> <li>・「上開き」：コピーの上側にとじしろを作りたいときに選びます。</li> <li>・「左開き」：コピーの左側にとじしろを作りたいときに選びます。</li> <li>・「右開き」：コピーの右側にとじしろを作りたいときに選びます。</li> </ul>

## コピーした用紙を仕分ける（〔仕上り〕）

コピーした用紙の排紙のしかたを設定します。

➔ 〔基本設定〕 - 〔仕上り〕 をタップします。



設定	説明
〔グループ / ソート〕	<p>複数の部数をコピーするときに、排紙のしかたを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔自動〕：セットした原稿の枚数と印刷部数に応じて、自動的にソートとグループを切替えます。複数枚の原稿をセットし、印刷部数を複数部設定した場合、自動的にソートに切替えて排紙します。その他の条件の場合は、グループで排紙します。</li> <li>・〔ソート (1 部ごと)〕：「12345」、 「12345」、 「12345」のように 1 部ずつ区別して排紙します。</li> <li>・〔グループ (ページごと)〕：「111」、 「222」、 「333」、 「444」、 「555」のようにページごとに区別して排紙します。</li> </ul>
〔仕分け〕	<p>部数またはページ単位で仕分けして排紙するときに〔する〕を選びます。フィニッシャーまたはジョブセパレーターを装着している場合、コピーが完了した用紙を部数またはページ単位ですらして排紙します。フィニッシャーまたはジョブセパレーターを装着していない場合、以下の条件を満たすと、コピーが完了した用紙を部数またはページ単位で、用紙をタテヨコ交互に仕分けて排紙します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A4、B5 または 8-1/2 × 11 の用紙を使う</li> <li>・ サイズと種類の同じ用紙を □ 方向と ▢ 方向にセットする</li> <li>・ 用紙 / サイズ機能で自動用紙を設定する</li> </ul>
〔ステープル / パンチ〕	<p>〔ステープル〕：用紙をステープルでとじるときに、とじ位置を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔コーナー〕：用紙のコーナー 1 箇所（左上もしくは右上）をステープルでとじてから排紙します。</li> <li>・〔2 点〕：用紙の 2 箇所（上、左、右）をステープルでとじてから排紙します。</li> <li>・〔位置指定〕：とじ位置と原稿のセット方向を選びます。とじ位置を〔自動〕に設定すると、セットした原稿の方向からとじ位置を自動的に決定します。</li> </ul> <p>〔パンチ〕：用紙にパンチ穴をあけるときに、パンチ位置を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔位置指定〕：パンチ位置と原稿のセット方向を選びます。パンチ位置を〔自動〕に設定すると、セットした原稿の方向からパンチ位置を自動的に決定します。</li> </ul>
〔紙折り / 中とじ〕	<p>用紙を紙折りや中とじするときに、とじ方 / 折り方を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔中折り〕：コピーした用紙を 2 つ折りにしてから排紙します。</li> <li>・〔中とじ〕：コピーした用紙を中央で 2 つ折りし、ステープルでとじてから排紙します。</li> <li>・〔三つ折り〕：コピーした用紙を 3 つ折りにしてから排紙します。</li> </ul>



### 参考

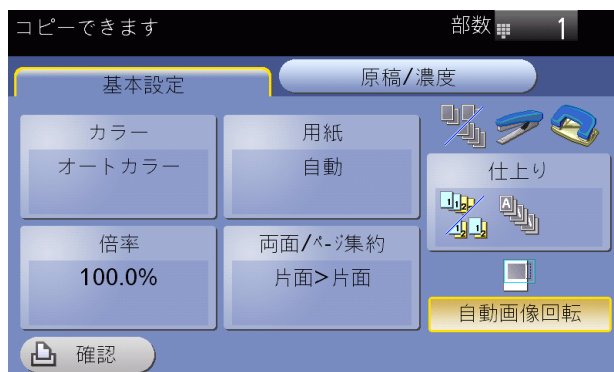
- ・ ステープル機能を使うには、オプションのフィニッシャーが必要です。
- ・ パンチ機能を使うには、オプションのフィニッシャーとパンチキットが必要です。
- ・ 中折り / 中とじ / 三つ折り機能を使うには、オプションの中とじ機付フロアフィニッシャーが必要です。

## 原稿をセットした方向のまま回転させずにコピーする（〔自動画像回転〕）

通常、原稿と用紙の向きが違っていても、自動的に回転補正してコピーしますが、回転補正をせずにそのままコピーすることもできます。

原稿の一部分だけをコピーしたいときなどに設定します。

➔ 〔基本設定〕 - 〔自動画像回転〕 をタップします。

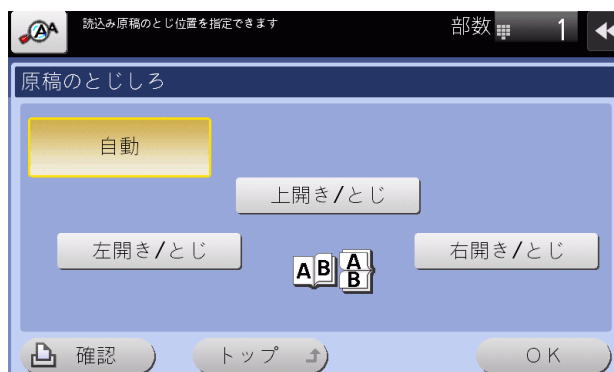


### 1.3.3 コピーの各種設定（〔原稿 / 濃度〕）

#### 原稿のとじしろを指定する（〔原稿のとじしろ〕）

両面原稿を読み込むときは、とじしろの位置が逆にならないよう〔原稿のとじしろ〕で原稿のとじしろ位置を指定します。

➔ 〔原稿 / 濃度〕 - 〔原稿のとじしろ〕 をタップします。

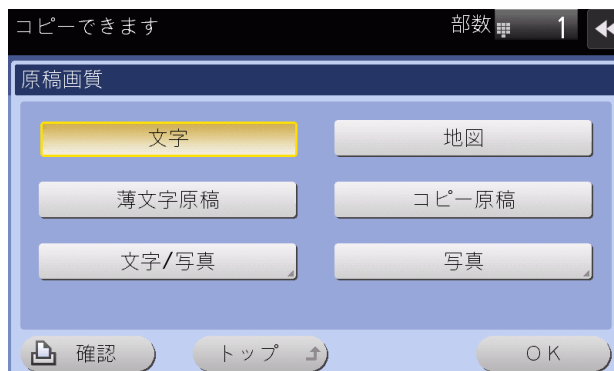


設定	説明
〔自動〕	原稿のとじしろが自動で設定されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろを設定します。</li> <li>原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろを設定します。</li> </ul>
〔上開き / とじ〕	原稿の上側にとじしろがあるときに選びます。
〔左開き / とじ〕	原稿の左側にとじしろがあるときに選びます。
〔右開き / とじ〕	原稿の右側にとじしろがあるときに選びます。

## 原稿の内容に適した画質を選ぶ（「原稿画質」）

原稿の記載内容に適した設定を選び、最適な画質でコピーします。

➔ 「原稿 / 濃度」 - 「原稿画質」 をタップします。



設定	説明
「文字」	文字が多い原稿を、最適な画質でコピーします。 文字のエッジをシャープに再現して、読みやすい画像にします。
「地図」	地図などの下地色のついた原稿や鉛筆や色細線で描かれた原稿を、最適な画質でコピーします。 シャープなコピー画像が得られます。
「薄文字原稿」	文字が多い原稿で、細い文字や、濃度が薄い文字の場合に、最適な画質でコピーします。 文字の濃度を濃く再現して、読みやすい文字にします。
「コピー原稿」	コピーやプリンターで出力した、濃度が均一な原稿を、最適な画質でコピーします。
「文字 / 写真」	文字と写真とで構成された原稿を、最適な画質でコピーします。 文字のエッジはシャープに再現して、写真は滑らかに再現します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「印画紙写真」：写真の部分が、印画紙に印刷された原稿を読み込むときに選びます。</li> <li>・ 「印刷写真」：パンフレットやカタログなど、印刷された原稿を読み込むときに選びます。</li> </ul>
「写真」	写真だけで構成された原稿を、最適な画質でコピーします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「印画紙写真」：印画紙に印刷された原稿を読み込むときに選びます。</li> <li>・ 「印刷写真」：パンフレットやカタログなど、印刷された原稿を読み込むときに選びます。</li> </ul>

## 原稿をセットした方向を指定する（「原稿セット方向」）

両面原稿を読み込む場合などに、読み込んだあとの上下が正しくなるように原稿をセットした向きを指定できます。

→ 「原稿 / 濃度」 - 「原稿セット方向」 をタップし、原稿セット方向を選びます。



## コピー濃度を調整する（「濃度」）

コピー画像の濃淡を調整します。

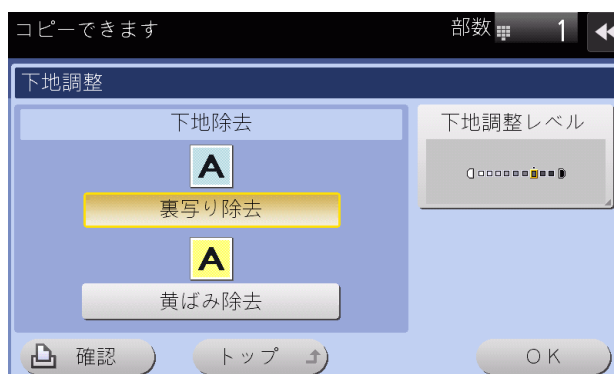
→ 「原稿 / 濃度」 - 「濃度」 をタップし、濃度を調整します。



## 原稿の下地の濃度を調整する（「下地調整」）

新聞紙や再生紙など、下地に色が付いている原稿や、裏面が透けてしまう薄い原稿などをコピーする場合に下地の濃度を調整できます。

➔ 「原稿 / 濃度」 - 「下地調整」 をタップします。



設定	説明
「下地除去」	薄紙でできた両面の原稿や、下地に色が付いている原稿を、最適な画質でコピーします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「裏写り除去」：裏面が透けて見える両面の原稿など、裏写りさせたくないときに選びます。</li> <li>・「黄ばみ除去」：地図など、下地に色が付いている原稿を使うときに選びます。</li> </ul>
「下地調整レベル」	下地に色が付いている原稿の、下地の色の濃度を調整します。「自動」を選ぶと、下地の色の濃度を自動で判別して、最適な下地の濃度でコピーします。

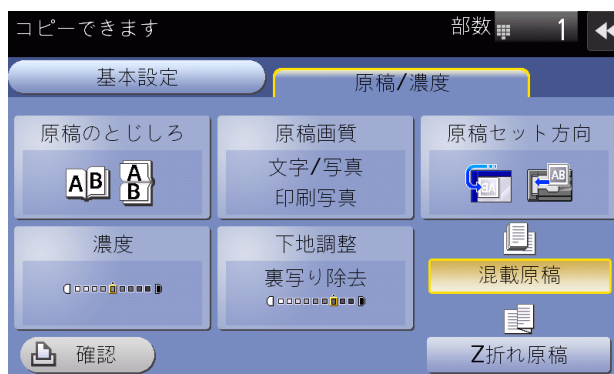
## 異なるサイズの原稿をまとめて読込む（「混載原稿」）

サイズの異なる複数ページの原稿でも、ADF を使うことで、原稿ごとにサイズを検知して読み込みます。

### 重要

すべての原稿は ADF の左側と奥側を基準にしてセットします。

➔ 「原稿 / 濃度」 - 「混載原稿」 をタップします。



## 折りぐせのある原稿を読み込む（〔Z 折れ原稿〕）

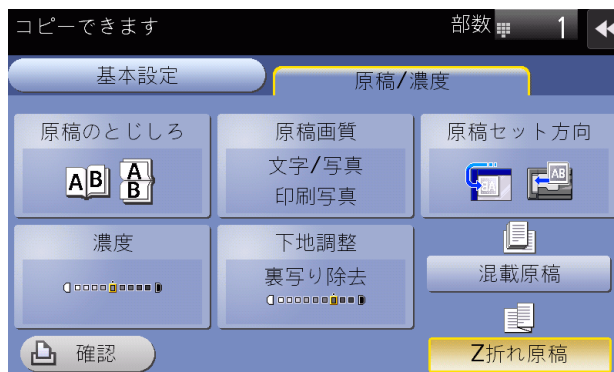
折りぐせのついた原稿でも、原稿サイズを正確に検知します。

折りぐせのついた原稿を ADF にセットすると、原稿サイズを正確に検知できないことがあります。折りぐせのついた原稿を ADF から読み込むときは、〔Z 折れ原稿〕で読み込んでください。

### 重要

折ぐせのついた原稿は、ADF にセットする前に伸ばしてください。伸ばさずに読み込むと、紙づまりやサイズ誤検知の原因になります。

➔ 〔原稿 / 濃度〕 - 〔Z 折れ原稿〕 をタップします。





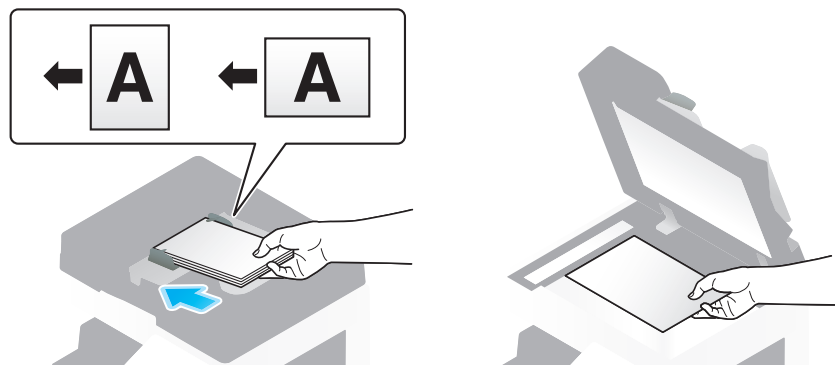
## 1.4 ファクス/スキャン機能を使う

### 1.4.1 送信する

#### 送信する（基本的な操作の流れ）

拡大表示でのファクス/スキャン送信のしかたを説明します。

- 1 原稿をセットします。

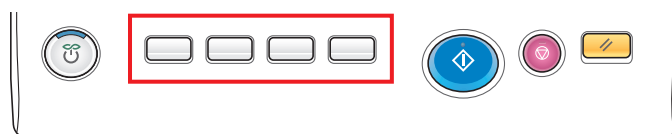


- 2 [ファクス/スキャン] をタップします。



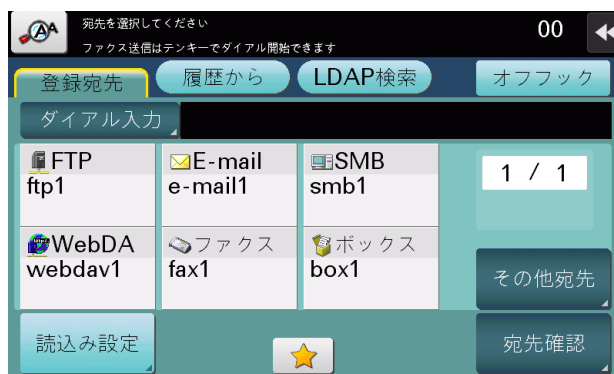
→ ファクスを送信するときは、ファクスモードを利用すると便利です。ファクスモードについて詳しくは、1-3 ページをごらんください。

- 3 拡大表示（初期値：登録キー 1）を押します。



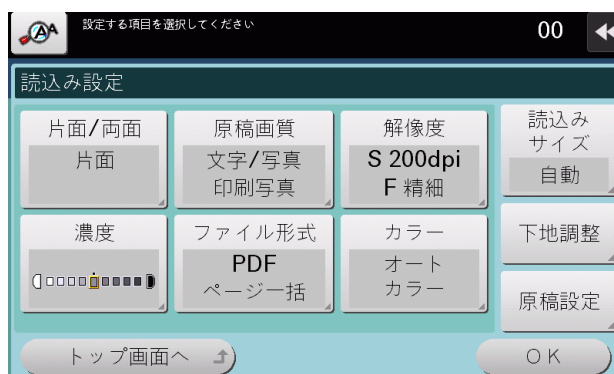
## 4 宛先を指定します。

- 宛先の指定のしかたについて詳しくは、1-33 ページをごらんください。
- 複数の宛先を指定することで、コンピューターへの送信、ファクス送信などが同時に実行できます。初期設定では、複数の宛先の指定が禁止されているため設定変更が必要です。詳しくは、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
- [宛先確認] をタップすると、選んだ宛先の一覧を確認できます。



## 5 必要に応じて [読み込み設定] をタップし、ファクス/スキャン送信のオプション設定をします。

- オプション設定について詳しくは、1-35 ページをごらんください。
- 宛先の指定や、オプション設定をやり直したいときは、リセットを押します。



## 6 スタートを押します。

スタート



送信が開始されます。

- 原稿の読み込み中にストップを押すと、読み込みを停止し、停止中のジョブの一覧を表示します。原稿の読み込みを中止したいときは、一覧から停止中のジョブを削除します。



## 参照

必要に応じて、拡大表示の初期値の変更や設定などができます。詳しくは、3-9 ページをごらんください。



## 関連設定（管理者向け）

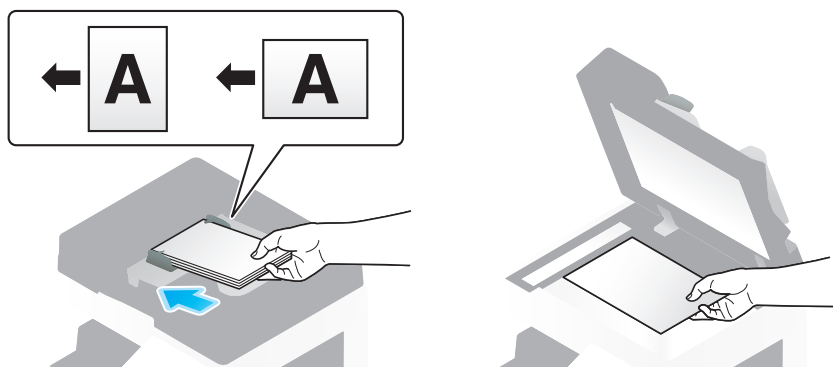
- タッチパネルの初期表示を、拡大表示にするかどうかを選べます（初期値：[しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

## ファクス/スキャンプログラムを呼出して送信する

ファクス/スキャンプログラムは、よく使う設定の組合わせを、1つの呼出しキーとして登録したものです。拡大表示のトップ画面から、ワンタッチでファクス/スキャンプログラムを呼出して送信できます。

- ✓ ファクス/スキャンプログラムは、あらかじめ通常の画面表示で登録する必要があります。登録のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド [スキャン機能] / [スキャン送信機能について]」をごらんください。

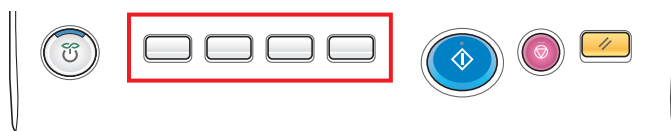
- 1 原稿をセットします。



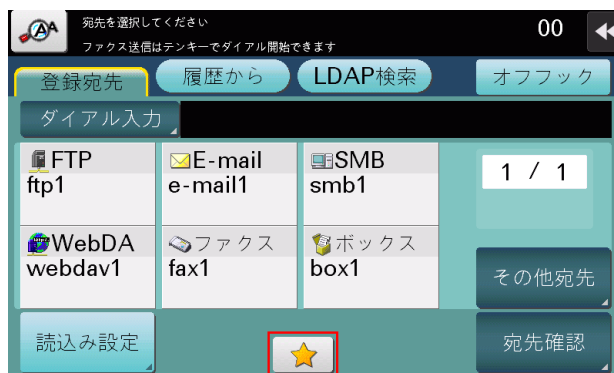
- 2 [ファクス / スキャン] をタップします。



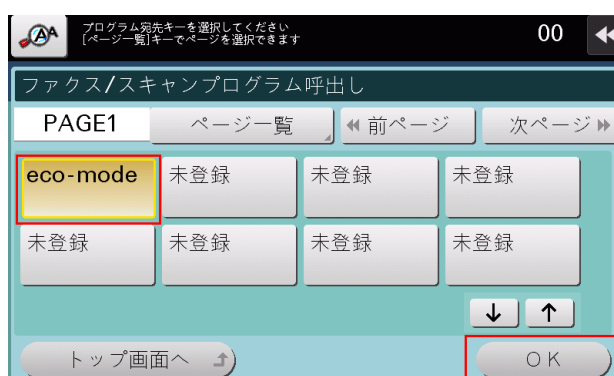
- 3 拡大表示（初期値：登録キー 1）を押します。



#### 4 プログラムを呼出すアイコンをタップします。



#### 5 呼出したいプログラムを選び、[OK] をタップします。 プログラムの登録内容が反映されます。



- 6 プログラムに宛先が登録されていない場合は、宛先を指定します。  
→ 宛先の指定のしかたについて詳しくは、1-33 ページをごらんください。
- 7 スタートを押します。

スタート



送信が開始されます。

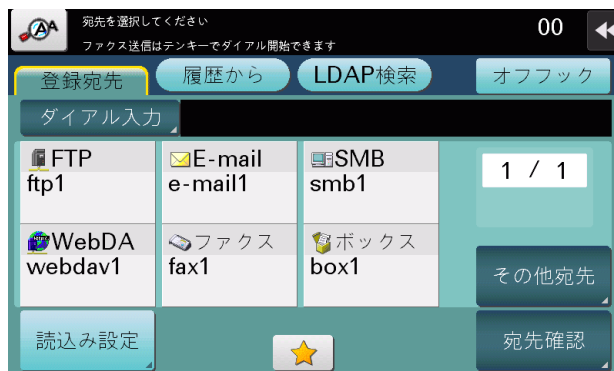
→ 原稿の読み込み中にストップを押すと、読み込みを停止し、停止中のジョブの一覧を表示します。原稿の読み込みを中止したいときは、一覧から停止中のジョブを削除します。

## 1.4.2 宛先の指定

### 登録宛先から選ぶ

「登録宛先」で、本機に登録されている宛先を選びます。

複数の宛先を選ぶと、同報送信できます。同報送信は、E-mail 送信と SMB 送信を同時に行うなど、異なる送信機能でも使えます。



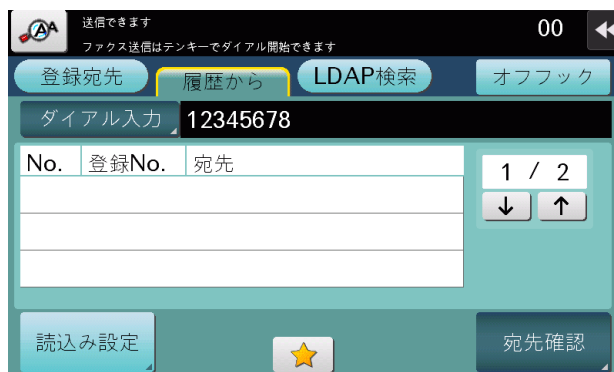
#### 参考

- 「その他宛先」をタップすると、登録されている宛先の種類で、宛先を絞込めます。

### 履歴から選ぶ

「履歴から」で、スキャン送信または保存した履歴から、宛先を選びます。

履歴は、最新の 5 件を表示します。履歴から複数の宛先を選ぶこともできます。



#### 参考

- 登録宛先の編集や、ボックスの編集、主電源の OFF/ON を行った場合、履歴の情報は削除されます。

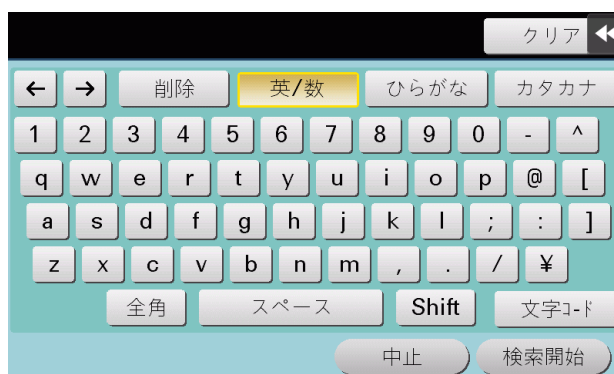
## メールアドレスをLDAPサーバーから検索する

LDAPサーバーやWindows ServerのActive Directoryをお使いの場合は、サーバーからメールアドレスを検索して選べます。

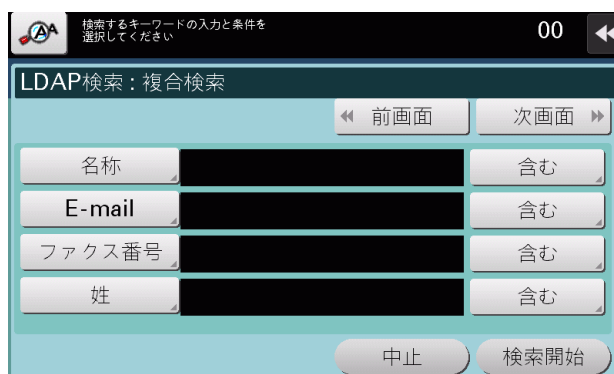
検索のしかたは、1つのキーワードを指定した〔単検索〕と、カテゴリ別のキーワードを組合わせた〔複合検索〕があります。

- ✓ 宛先の指定にLDAPサーバーやActive Directoryを使うには、本機にサーバーの登録が必要です。登録のしかたについては、**Web Connection** を使って説明します。詳しくは、「ユーザズガイド [Web 設定ツール] / [スキャン送信の使用環境を設定する]」をごらんください。

- 1 〔LDAP 検索〕 - 〔単検索〕 または 〔複合検索〕 をタップします。
- 2 キーワードを入力し、〔検索開始〕 をタップします。  
→ 〔単検索〕 の場合



→ 〔複合検索〕 の場合

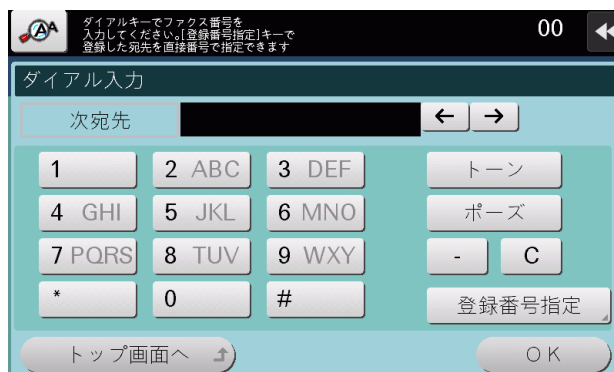


- 3 検索結果から、宛先を選びます。

## ファクス番号を直接入力する

〔ダイヤル入力〕で、ファクス番号を直接入力します。

複数の宛先を指定するときは、〔次宛先〕をタップすると、宛先を追加できます。



### 参考

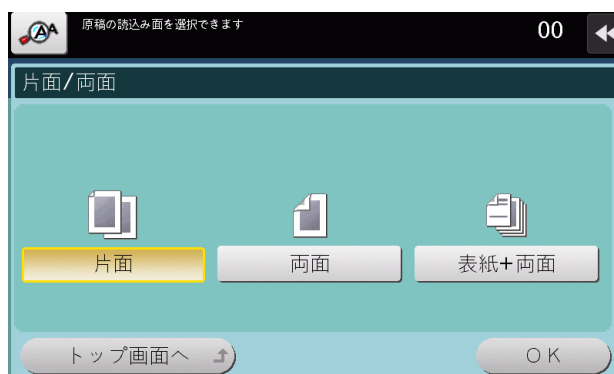
- 〔登録番号指定〕をタップすると、宛先の登録番号で指定することもできます。

## 1.4.3 ファクス/スキャン送信のオプション設定

### 原稿の両面を読み込む（〔片面 / 両面〕）

ADFを使うと、原稿の表と裏を自動で読みめます。また、原稿の最初のページだけ片面を読み、残りのページを両面で読みんだりすることもできます。

➔ 〔読み設定〕 - 〔片面 / 両面〕をタップします。



設定	説明
〔片面〕	原稿の片面を読みめます。
〔両面〕	原稿の両面を読みめます。
〔表紙 + 両面〕	原稿の最初のページだけ片面を読み、残りのページは両面を読みめます。



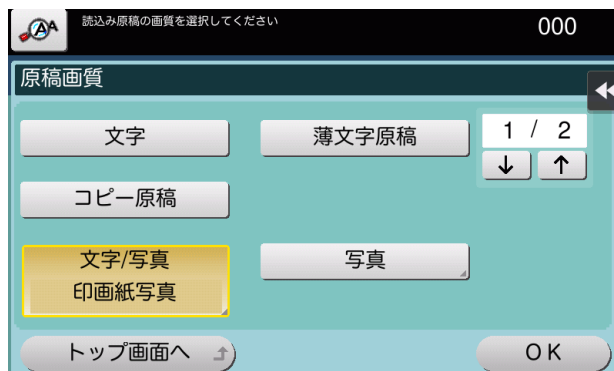
### 参照

両面原稿を読み込む場合は、原稿のセット方向と合わせて設定することをおすすめします。詳しくは、1-41 ページをごらんください。

## 原稿の内容に適した画質を選ぶ（「原稿画質」）

原稿の記載内容に適した設定を選んで、最適な画質で読みます。

→ 「読み設定」 - 「原稿画質」 をタップします。



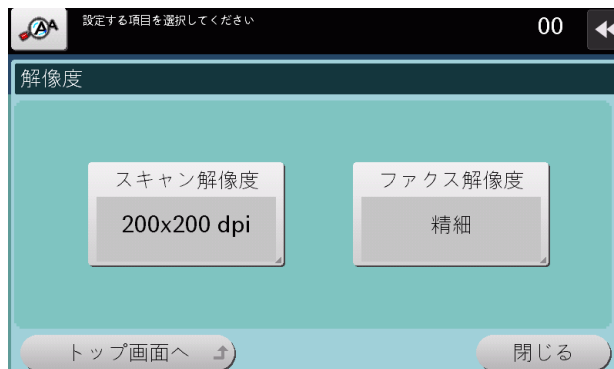
設定	説明
「文字」	文字が多い原稿を、最適な画質で読みます。 文字のエッジをシャープに再現して、読みやすい画像にします。
「薄文字原稿」	文字が多い原稿で、細い文字や、濃度が薄い文字の場合に、最適な画質で読みます。 文字の濃度を濃く再現して、読みやすい文字にします。
「コピー原稿」	コピーやプリンターで出力した、濃度が均一な原稿を、最適な画質で読みます。
「文字 / 写真」	文字と写真とで構成された原稿を、最適な画質で読みます。 文字のエッジはシャープに再現して、写真は滑らかに再現します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「印画紙写真」：写真の部分が、印画紙に印刷された原稿を読み込むときに選びます。</li> <li>・ 「印刷写真」：パンフレットやカタログなど、印刷された原稿を読み込むときに選びます。</li> </ul>
「写真」	写真だけで構成された原稿を、最適な画質で読みます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「印画紙写真」：印画紙に印刷された原稿を読み込むときに選びます。</li> <li>・ 「印刷写真」：パンフレットやカタログなど、印刷された原稿を読み込むときに選びます。</li> </ul>
「契約書」	契約書やバーコードなどの原稿を白黒で読み込むときに、ファイルサイズを低減します。 「契約書」に設定すると、連動して「カラー」が「白黒2値」に切り替わります。 ファイル形式がTIFF、PDF、XPSのいずれかに設定されている場合に選べます。



## 原稿を読み込む解像度を設定する（〔解像度〕）

原稿を読み込むときの解像度を選びます。

➔ 〔読み込み設定〕 - 〔解像度〕 をタップします。



設定	説明
〔スキャン解像度〕	<p>スキャン送信する原稿の解像度を選びます。 E-mail 送信、SMB 送信、FTP 送信、WebDAV 送信、ボックス保存をするときは、以下の解像度で読み込みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [200 × 200 dpi] : 通常の前稿を読み込むときに選びます。</li> <li>・ [300 × 300 dpi] : 通常の前稿をより高い解像度で読み込むときに選びます。</li> <li>・ [400 × 400 dpi] : 小さな文字や図などが描かれた前稿を読み込むときに選びます。</li> <li>・ [600 × 600 dpi] : 前稿をファイルに変換したときに、最もファイルサイズが大きくなります。フルカラーの写真など、画質の細やかさを求める前稿を読み込むときなどに選びます。</li> </ul>
〔ファクス解像度〕	<p>ファクス送信する前稿の解像度を選びます。 ファクス送信、インターネットファクス送信、IP アドレスファクス送信をするときは、以下の解像度で読み込みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [普通] : 画質の細やかさを求めない前稿を読み込むときや、大量の前稿を短時間で送信したいときなどに選びます。</li> <li>・ [精細] : 通常の前稿を読み込むときに選びます。</li> <li>・ [高精細] : 小さな文字や図などが描かれた前稿を読み込むときに選びます。</li> <li>・ [超高精細] : 画質の細やかさを求める前稿を読み込むときに選びます。</li> </ul>

### 参考

- より精細に読み込むほど送信する情報量が増え、送信時間が長くなります。E-mail に添付する場合やサーバーに送信する場合は、データ容量に制限がないかをご確認ください。

## 原稿を読み込む濃度を調整する（〔濃度〕）

原稿を読み込む濃度（こく、うすく）を調整します。

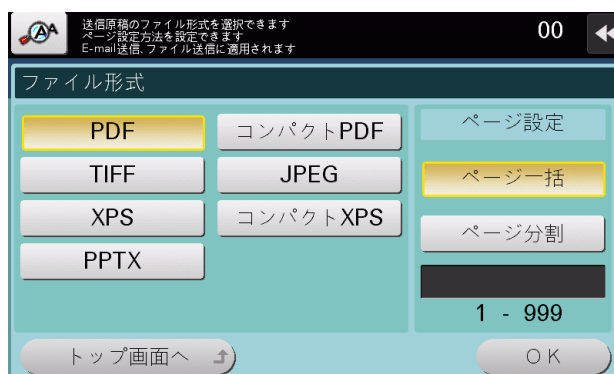
➔ 〔読み込み設定〕 - 〔濃度〕 をタップし、原稿を読み込む濃度を調整します。



## 読込んだ原稿データのファイル形式を設定する（〔ファイル形式〕）

ファイル形式は、PDF や TIFF、JPEG のほかに、XPS や PPTX、DOCX、XLSX などの形式も選べます。重要な原稿は、ファイルを暗号化できる PDF 形式をおすすめします。

➔ 〔読み設定〕 - 〔ファイル形式〕 をタップします。



設定	説明
〔ファイル形式〕	<p>保存したいファイル形式を、以下から選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔PDF〕：ほとんどの OS で表示できるフォーマットで、ファイルにパスワードを設定したり、暗号化したりできます。重要な原稿データは、PDF での保存がおすすめです。</li> <li>・〔コンパクト PDF〕：通常の PDF 形式よりも小さなファイルサイズで保存します。E-mail 送信など、ファイルサイズを小さくしたいときなどにおすすめです。</li> <li>・〔TIFF〕：汎用性の高い画像形式の 1 つです。TIFF は、1 つのファイルに複数ページを持てるマルチページに対応しています。</li> <li>・〔JPEG〕：デジタルカメラでよく使われているファイルの保存形式で、写真の保存に適したファイル形式です。JPEG は、1 つのファイルに複数ページを保存できません。</li> <li>・〔XPS〕：Windows で採用されている XML ベースのファイルの拡張子です。作成元のアプリケーションがなくても、XPS ビューアーをインストールすることで閲覧や印刷ができます。</li> <li>・〔コンパクト XPS〕：通常の XPS 形式よりも小さなファイルサイズで保存します。</li> <li>・〔PPTX〕：Microsoft Office 2007 以降の PowerPoint で作成した、XML ベースのファイルの拡張子です。</li> <li>・〔DOCX〕：Microsoft Office 2007 以降の Word で作成した、XML ベースのファイルの拡張子です。</li> <li>・〔XLSX〕：Microsoft Office 2007 以降の Excel で作成した、XML ベースのファイルの拡張子です。</li> </ul>
〔ページ設定〕	<p>原稿が複数ページあるときに、ファイルにするページ単位を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔ページー括〕：すべてのページを 1 つのファイルに変換します。ただし、〔ファイル形式〕で〔JPEG〕を選んだときは、〔ページー括〕を選べません。</li> <li>・〔ページ分割〕：E-mail 送信、SMB 送信、FTP 送信するときに、指定したページ枚数ごとにファイルを分割して送信する形式にできます。たとえば「2」を入力して 10 枚の原稿を読み込むと、送信時は 5 ファイルに分割されます。ボックス保存時は、指定したページ枚数を記憶して 1 つのファイル（〔ページー括〕の状態）で保存されます。指定したページ枚数を 1 ファイルとして変換します。</li> </ul>

### 参考

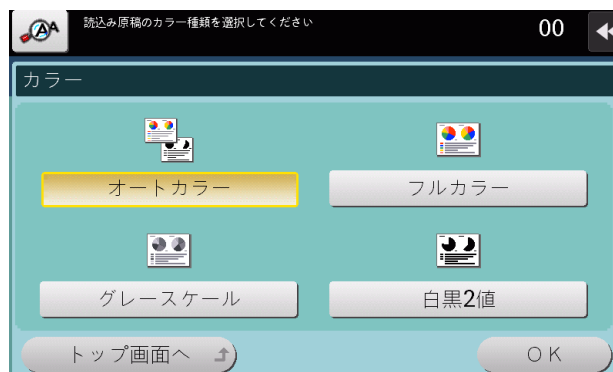
- ・ ファイル形式として DOCX、XLSX を指定するには、オプションの拡張メモリーと LK-110 v2（ファイル形式拡張パッケージ）が必要です。
- ・ ファイル形式の XPS、コンパクト XPS、PPTX は、Web ブラウザー機能が無効の場合に利用できません。オプションの拡張メモリーを装着している場合は、Web ブラウザー機能の有効／無効に関わらず利用できます。
- ・ 一部の機種は、拡張メモリーを標準で装備しています。詳しくは、「ユーザズガイド〔本機について〕 / 〔オプションの各部の名前とはたらきを確認する〕」をごらんください。

## 原稿を読み込むカラーモードを選ぶ（〔カラー〕）

選んだカラーモードで読み込みます。

カラーモードには、原稿の色に合わせて読み込む〔オートカラー〕のほか、〔フルカラー〕、〔グレースケール〕、〔白黒2値〕があります。

➡ 〔読み込み設定〕 - 〔カラー〕 をタップします。



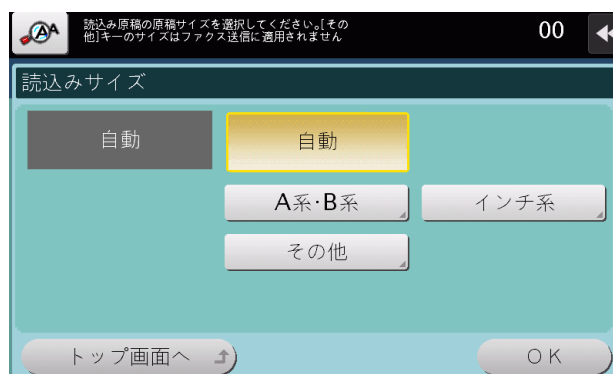
設定	説明
〔オートカラー〕	原稿の色に合わせて、自動的に〔フルカラー〕または〔グレースケール〕を選んで読み込みます。
〔フルカラー〕	原稿の色に関わらず、フルカラーで読み込みます。 白黒以外の色を使った原稿や、カラー写真を読み込むときに選びます。
〔グレースケール〕	原稿の色に関わらず、グレースケールで読み込みます。白黒写真など、ハーフトーンが多い原稿を読み込むときに選びます。
〔白黒2値〕	原稿を、白と黒の中間色を使わずに、白か黒かで読み込みます。 線画など、白黒の境がはっきりしている原稿を読み込むときに選びます。

## 読込む原稿のサイズを設定する（「読み込みサイズ」）

読込む原稿のサイズを選びます。

読み込みサイズは、原稿の大きさに合わせる「自動」のほか、「A系・B系」や「インチ系」などがあります。

➔ 「読み込み設定」 - 「読み込みサイズ」をタップします。

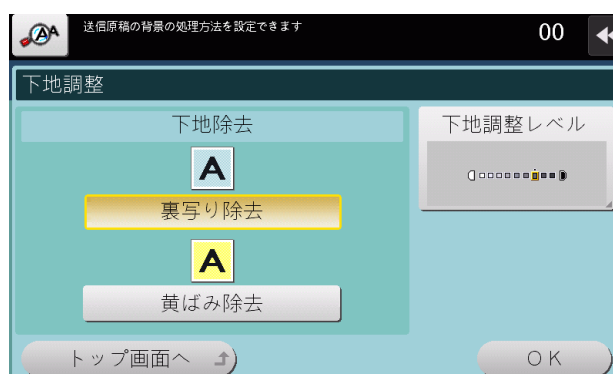


設定	説明
「自動」	原稿のサイズに合わせて、自動的にサイズを選んで読み込みます。
「A系・B系」	A系・B系サイズの原稿を読み込むときに選びます。「A系・B系」をタップして、A系・B系それぞれの定形サイズを選びます。
「インチ系」	インチ系サイズの原稿を読み込むときに選びます。「インチ系」をタップして、インチ系の定形サイズを選びます。
「その他」	はがきや、A系・B系、インチ系サイズ以外の原稿を読み込むときに選びます。「その他」をタップすると、各定形サイズを選べます。

## 読込む原稿の下地の濃度を調整する（「下地調整」）

新聞や再生紙など、下地に色が付いている原稿や、裏面が透けてしまう薄い原稿などを読込む場合に下地の濃度を調整できます。

➔ 「読み込み設定」 - 「下地調整」 をタップします。

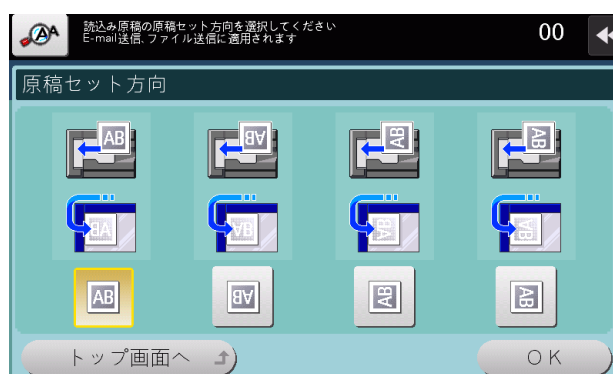


設定	説明
「下地除去」	薄紙でできた両面の原稿や、下地に色が付いている原稿を、最適な画質で読み込みます。 ・ 「裏写り除去」：裏面が透けて見える両面の原稿など、裏写りさせたくないときに選びます。 ・ 「黄ばみ除去」：地図など、下地に色が付いている原稿を使うときに選びます。
「下地調整レベル」	下地に色が付いている原稿の、下地の色の濃度を調整します。「自動」を選ぶと、下地の色の濃度を自動で判別して、最適な下地の濃度で読み込みます。

## 原稿をセットした方向を指定する（「原稿セット方向」）

両面原稿を読込む場合などに、読込んだあとの上下が正しくなるように原稿をセットした向きを指定できます。

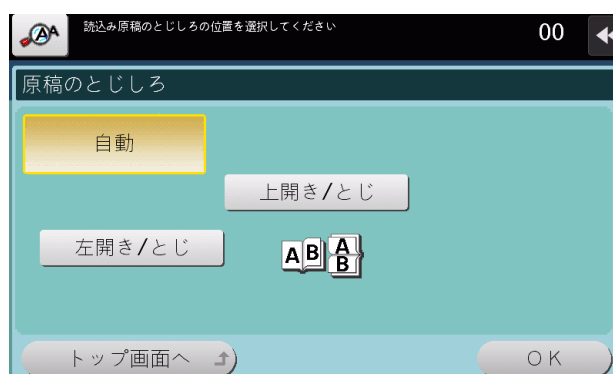
➔ 「読み込み設定」 - 「原稿設定」 - 「原稿セット方向」 をタップし、原稿セット方向を選びます。



## 原稿のとじしろを指定する（「原稿のとじしろ」）

両面原稿を読み込むときは、とじしろの位置が逆にならないよう「原稿のとじしろ」で原稿のとじしろ位置を指定します。

➔ 「読み込み設定」 - 「原稿設定」 - 「原稿のとじしろ」をタップします。



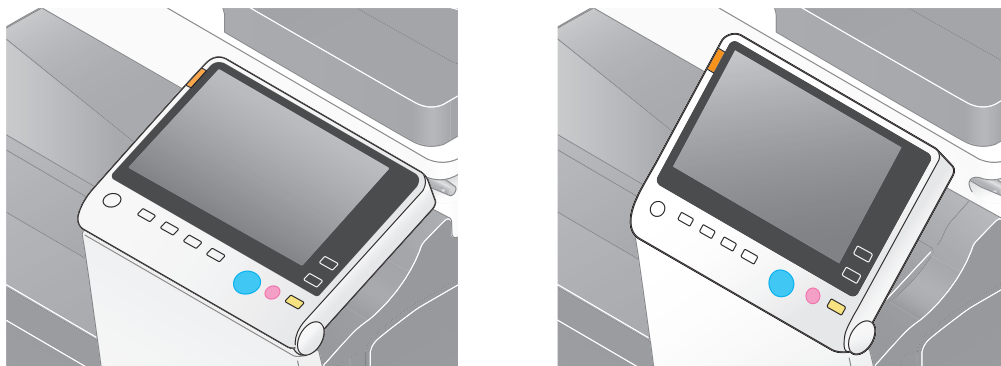
設定	説明
[自動]	<p>原稿のとじしろが自動で設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろを設定します。</li> <li>• 原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろを設定します。</li> </ul>
[左開き / とじ]	原稿の左側にとじしろがあるときに選びます。
[上開き / とじ]	原稿の上側にとじしろがあるときに選びます。



## 操作パネルの角度を変える

## 2 操作パネルの角度を変える

操作パネルは、下図に示した範囲で角度を自由に変更できます。使いやすい位置に角度を調節してください。



操作パネルの角度を変更するときは、操作パネルを上下に傾けます。







ユニバーサル機能を使う

## 3 ユニバーサル機能を使う

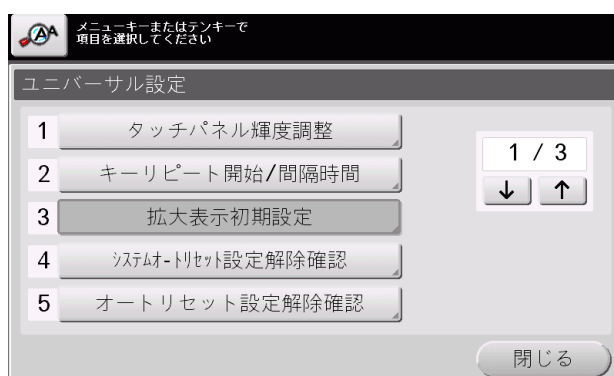
### 3.1 [ユニバーサル設定] について

[ユニバーサル設定] は、タッチパネルの調整や、キー操作音の変更など、**操作パネル**の使用環境を設定するときに使います。

お使いの環境に合わせて設定してください。



[ユニバーサル設定] をタップすると、次のメニューを表示します。



設定	説明
[タッチパネル輝度調整]	タッチパネルの明るさの度合い（輝度）を調整します。詳しくは、3-4 ページをごらんください。
[キーリピート開始 / 間隔時間]	キーを押してからキーリピートを開始するまでの時間と、連続して入力するときの間隔を変更します。詳しくは、3-13 ページをごらんください。
[拡大表示初期設定]	拡大表示時の初期値（電源を ON にしたときや、リセットを押したときの設定値）を変更します。各機能の設定値を変更した状態で現在の設定値を選ぶことで、初期値を変更できます。詳しくは、3-9 ページをごらんください。
[システムオートリセット設定解除確認]	システムオートリセットがはたらいたときに、拡大表示の解除を、画面を表示して確認するかどうかを選びます。画面を表示する場合は、表示する時間を選びます。詳しくは、3-11 ページをごらんください。
[オートリセット設定解除確認]	オートリセットがはたらいたときに、設定内容のリセットを、画面を表示して確認するかどうかを選びます。画面を表示する場合は、表示する時間を選びます。詳しくは、3-12 ページをごらんください。
[拡大表示切換え確認]	[拡大表示] をタップしたときに、拡大表示への切換えを、画面を表示して確認するかどうかを選びます。詳しくは、3-10 ページをごらんください。
[メッセージ表示時間]	タッチパネルに表示するメッセージの表示時間を変更します。詳しくは、3-8 ページをごらんください。

設定	説明
[画面表示色反転設定]	画面の表示色を反転して表示します。詳しくは、3-8 ページをごらんください。
[音設定]	キー操作音や警告音などを鳴らすかどうかを選びます。必要に応じて、音の種類を選択し、音量を調節します。詳しくは、3-5 ページをごらんください。
[音声ガイド設定]	音声ガイドの音量や、再生速度を変更します。[設定メニュー] - [管理者設定] - [音声ガイド設定] - [音声ガイド] が [する] に設定されている場合のみ表示されます。詳しくは、「ユーザーズガイド [拡張機能] / [音声ガイドを使う]」をごらんください。
[連続タップ時の動作設定]	同じキーを連続してタップしたときに、ダブルタップとして検知するかどうかを選びます。詳しくは、3-4 ページをごらんください。

## 3.2 タッチパネルを調整する

### タッチパネルの明るさを調整する

タッチパネルの明るさの度合い（輝度）を調整します。

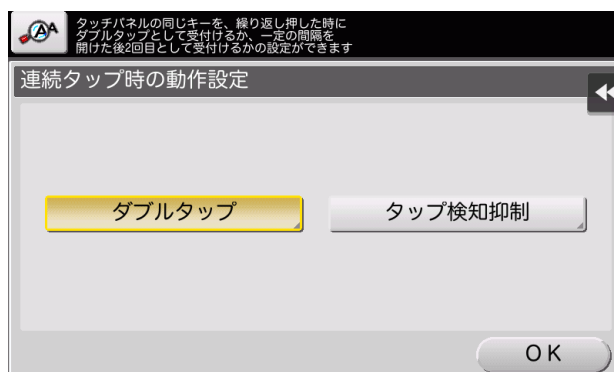
→ [ユニバーサル設定] - [タッチパネル輝度調整] で、[低く] または [高く] をタップして調整します。



### 連続タップ時の動作を設定する

同じキーを連続してタップしたときに、ダブルタップとして検知するかどうかを選びます。

→ [ユニバーサル設定] - [連続タップ時の動作設定] をタップします。



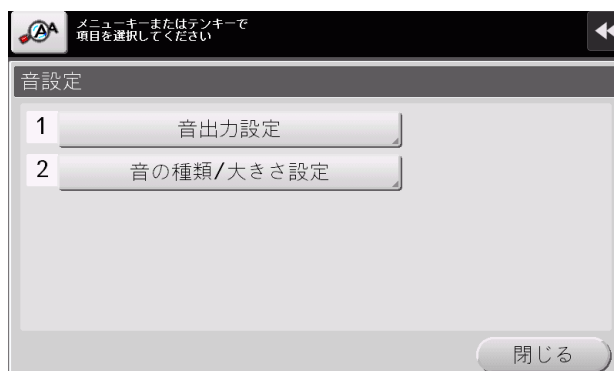
設定	説明
[ダブルタップ]	同じキーを連続してタップしたときに、ダブルタップとして検知します。ダブルタップとして検知する間隔を 5 段階で変更できます。右側のボックスをダブルタップすると、現在の設定を確認できます。初期値は [ふつつ] です。
[タップ検知抑制]	同じキーを連続してタップしたときに、一定間隔内の 2 回目以降のタップを検知しないように設定できます。意図せずにキーに連続して触れてしまった場合に、ダブルタップとして誤検知されることを防ぐために設定します。2 回目以降のタップを検知するまでの間隔を設定します。初期値は [0.1] 秒です。

## 3.3 操作音やメッセージ表示の設定をする

### キー操作音や警告音の設定をする

キー操作音や警告音などを鳴らすかどうかを選びます。必要に応じて、音の種類を選択し、音量を調節します。

- 1 [ユニバーサル設定] - [音設定] で、音の設定をします。

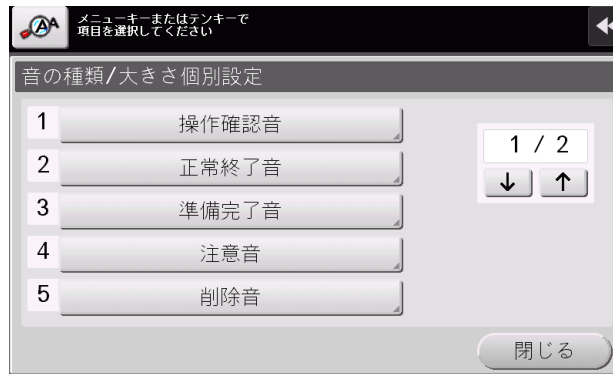


設定	説明
[音出力設定]	[操作確認音出力]、[正常終了音出力]、[準備完了音出力]、[注意音出力]、[削除音出力]、[認証音出力] をそれぞれ鳴らすかどうかを選びます。 [一括出力] で [しない] を選ぶと、すべての音が鳴らなくなります。 初期値はすべて [する] です。
[音の種類 / 大きさ設定]	[操作確認音]、[正常終了音]、[準備完了音]、[注意音]、[削除音]、[認証音] でそれぞれの音の種類と大きさを設定します。 [一括設定] を選択した場合は、すべての音の種類と大きさを一括で設定します。音の種類を 6 種類から選択し、音量を [大] [中] [小] から選んで調節します。 [個別設定] を選択した場合は、それぞれの音の種類と大きさを個別に設定します。

- 2 [音の種類 / 大きさ設定] をタップし、音の種類と大きさを設定します。



3 個別に音の種類と大きさを設定する場合は、[個別設定] - [個別設定変更] をタップします。



設定	説明
[操作確認音]	<p>次の操作確認音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、必要に応じて、音の種類を 6 種類から選択し、音量を [大] [中] [小] から選んで調節します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [入力確認音]：キーを押して入力したときに鳴る音です。</li> <li>・ [入力無効音]：キーを押したが無効な入力だったときに鳴る音です。</li> <li>・ [基点音]：切換えがローテーションする選択項目で、初期値の項目が選ばれたときに鳴る音です。</li> <li>・ [ウィンドウポップアップ音]：アイランドウィンドウやバルーンウィンドウを開いたときに鳴る音です。</li> <li>・ [キーボード操作音]：キーボード画面やテンキーを操作したときに鳴る音です。</li> </ul> <p>初期値はすべて [する] / [Signal] / [中] です。</p>
[正常終了音]	<p>次の正常終了音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、必要に応じて、音の種類を 6 種類から選択し、音量を [大] [中] [小] から選んで調節します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [操作終了音]：操作が正常に終了したときに鳴る音です。</li> <li>・ [通信終了音]：通信が正常に終了したときに鳴る音です。</li> <li>・ [プリンター印刷完了音]：コンピューターからの印刷が正常に終了したときに鳴る音です。</li> <li>・ [ファクス受信印刷完了音]：受信したファクスの印刷が正常に終了したときに鳴る音です。</li> </ul> <p>初期値はすべて [する] / [Signal] / [中] です。</p>
[準備完了音]	<p>本機が使用できる状態になったときに準備完了音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、必要に応じて、音の種類を 6 種類から選択し、音量を [大] [中] [小] から選んで調節します。</p> <p>初期値はすべて [する] / [Signal] / [中] です。</p>
[注意音]	<p>次の注意音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、必要に応じて、音の種類を 6 種類から選択し、音量を [大] [中] [小] から選んで調節します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [弱注意音 (Level1)]：各消耗品および交換部品が交換時期に近づき、タッチパネルにメッセージが表示されたときに鳴る音です。</li> <li>・ [弱注意音 (Level2)]：ユーザーが誤った操作を行ったときに鳴る音です。</li> <li>・ [弱注意音 (Level3)]：メッセージやマニュアルを参照することで対処できるレベルのエラーが発生したときに鳴る音です。</li> <li>・ [強注意音]：トナーカートリッジや廃棄トナーボックスのセット不良や、サービスエンジニア対応レベルのエラーが発生したときに鳴る音です。</li> </ul> <p>初期値はすべて [する] / [Signal] / [中] です。</p>
[削除音]	<p>文書やジョブを削除したときに削除音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、必要に応じて、音の種類を 6 種類から選択し、音量を [大] [中] [小] から選んで調節します。</p> <p>初期値はすべて [する] / [Signal] / [中] です。</p>

設定	説明
[認証音]	<p>ログインを行ったときに認証結果に関連して、認証音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、必要に応じて、音の種類を 6 種類から選択し、音量を [大] [中] [小] から選んで調節します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ [認証成功音]: ログイン画面で [ログイン] をタップするか、または ID を押し、ユーザー認証、部門認証が成功したときに鳴る音です。</li><li>・ [認証失敗音]: ログイン画面で [ログイン] をタップするか、または ID を押し、ユーザー認証、部門認証が失敗したときに鳴る音です。</li></ul> <p>初期値はすべて [する] / [Signal] / [中] です。</p>



#### 参考

- Remote Access を使って Android/iOS 端末から本機の操作パネルを遠隔操作している場合、[個別設定変更] をタップすると音の種類の選択肢に [端末音] が表示されます。[端末音] をタップすると、Android/iOS 端末から出力する音を端末音ファイルの一覧から指定できます。



#### 関連設定

- [操作確認音] - [ウィンドウポップアップ音] を [する] に設定していても、ポップアップウィンドウをアニメーション表示しない場合は、音が鳴りません。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。



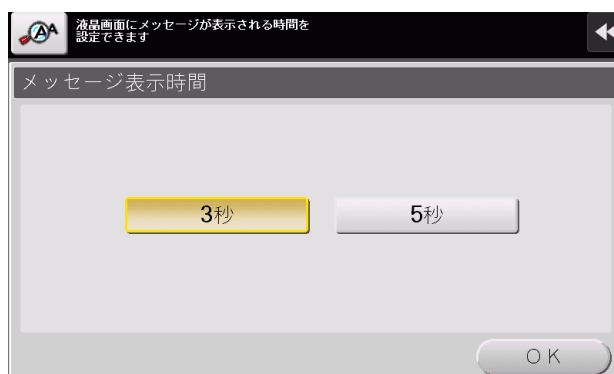
#### 関連設定 (管理者向け)

- [音設定] のショートカットキーをトップメニューに配置できます。初期設定では、[トップメニューキー 4] に割当てられています。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

## メッセージの表示時間を変更する

タッチパネルに表示するメッセージの表示時間を変更します。

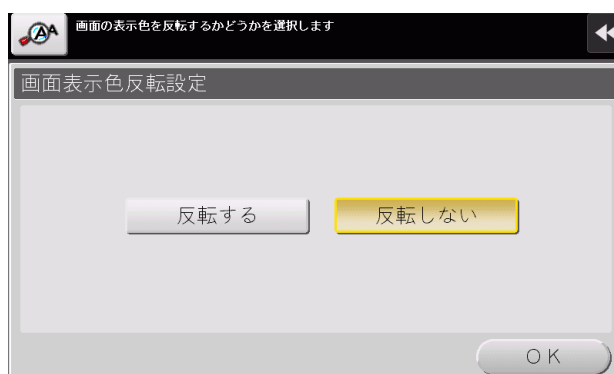
- [ユニバーサル設定] - [メッセージ表示時間] で、[3 秒] または [5 秒] から選びます（初期値：[3 秒]）。



## 画面の表示色を反転する

画面の表示色を反転させることで、高齢者や弱視の方でも画面を見やすくします。

- [ユニバーサル設定] - [画面表示色反転設定] で、画面表示色を反転させるかどうかを選びます（初期値：[反転しない]）



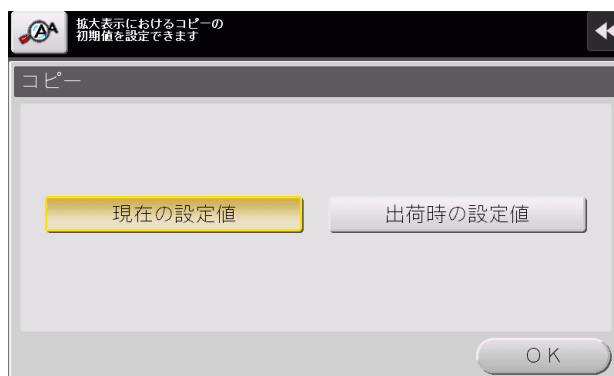


## 3.4 拡大表示の動作を設定する

### 拡大表示の初期値を変更する

拡大表示時の初期値（電源を ON にしたときや、リセットを押したときの設定値）を変更します。各機能の設定値を変更した状態で「現在の設定値」を選ぶことで、初期値を変更できます（初期値：「出荷時の設定値」）。

- 1 拡大表示で、コピーモードまたはファクス／スキャンモードの各種設定を変更します。  
→ 1 回の操作で、両方のモードの初期値を変更することはできません。
- 2 「メニュー」 - 「ユニバーサル設定」 - 「拡大表示初期設定」をタップします。
- 3 設定値を変更するモードを選びます。  
→ 「ユニバーサル設定」をタップする前に表示していたモードを選びます。
- 4 「現在の設定値」を選び、「OK」をタップします。  
→ 出荷時の状態に戻すときは、「出荷時の設定値」を選びます。

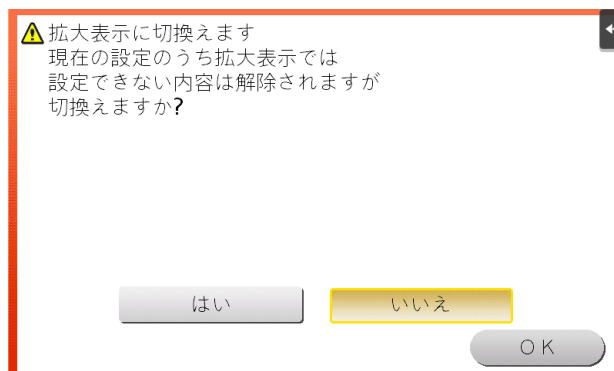


#### 参考

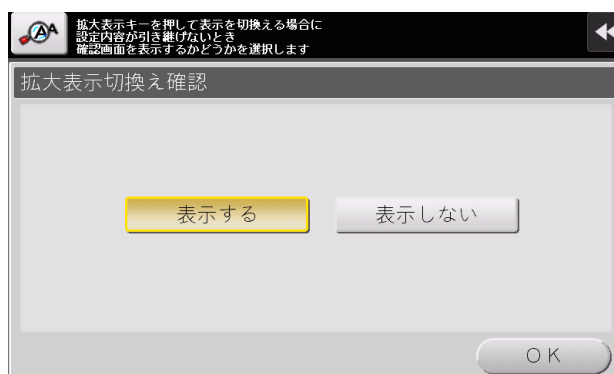
- ファクス／スキャンモードの設定の初期値を変更しても、ファクスモードの設定の初期値は変更されません。

### 拡大表示に切換えるときに確認画面を表示する

〔拡大表示〕をタップし、拡大表示に切換えると、通常の画面表示で行った設定内容が解除されます。必要に応じて、通常の画面表示で行った設定内容を解除して拡大表示に切換えるかどうかの確認画面を表示できます。



→ [ユニバーサル設定] - [拡大表示切換え確認] で、拡大表示への切換えを、画面を表示して確認するかどうかを選びます（初期値：[表示しない]）。



#### ④ 関連設定（管理者向け）

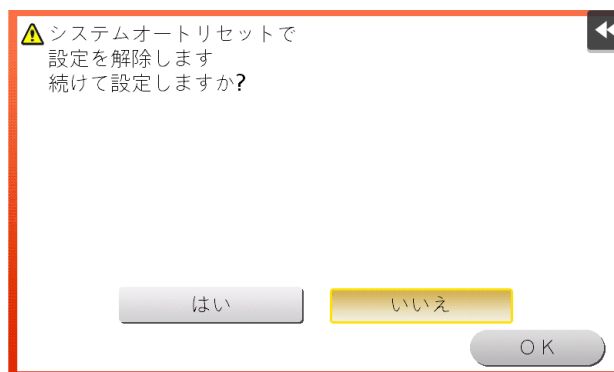
- [通常 / 拡大表示引継ぎ設定] を [モード 1] に設定している場合、[拡大表示切換え確認] は表示されません（初期値：[モード 2]）。[通常 / 拡大表示引継ぎ設定] について詳しくは、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

#### 📄 参考

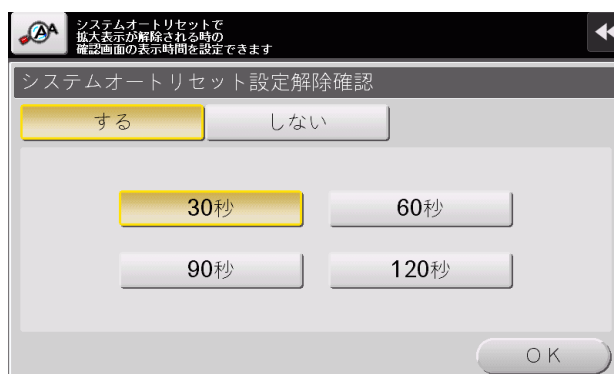
- 通常の画面表示へ切換えるときは、確認画面を表示しません。

### 拡大表示が解除されるときに確認画面を表示する

拡大表示中に本機を操作しない時間がしばらく続くと、自動的に拡大表示が解除されます。必要に応じて、拡大表示を解除するかどうかの確認画面を表示できます。



→ [ユニバーサル設定] - [システムオートリセット設定解除確認] で、拡大表示の解除を、画面を表示して確認するかどうかを選びます（初期値：[しない]）。画面を表示する場合は、表示する時間を選びます。

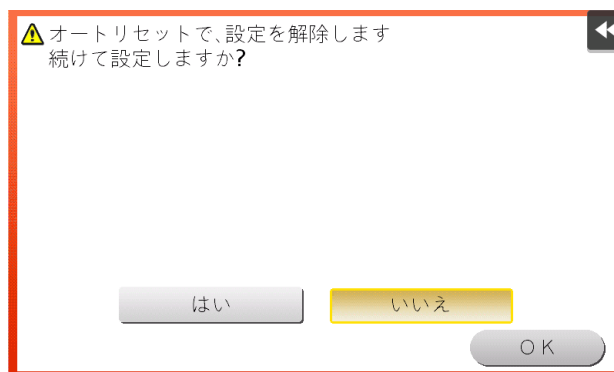


#### 参考

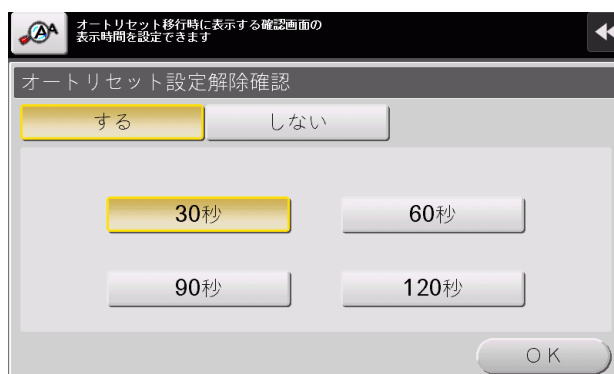
- タッチパネルの初期表示が拡大表示の場合は、この設定は表示されません。
- タッチパネルの初期表示を、拡大表示にするかどうかを選べます（初期値：[しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

### 設定内容がリセットされるときに確認画面を表示する

本機を操作しない時間がしばらく続くと、自動的に設定内容がリセットされます。必要に応じて、設定内容をリセットするかどうかの確認画面を表示できます。



- [ユニバーサル設定] - [オートリセット設定解除確認] で、設定内容のリセットを、画面を表示して確認するかどうかを選びます（初期値：[しない]）。画面を表示する場合は、表示する時間を選びます。



キーの長押しで入力するときの時間を調整する

拡大表示中は、キーを押すとまず 1 文字入力され、そのままキーを押し続けると連続した入力を開始します。これをキーリピートと呼びます。

必要に応じて、キーを押してからキーリピートを開始するまでの時間と、連続して入力するときの間隔を変更します。

➡ [ユニバーサル設定] - [キーリピート開始 / 間隔時間] をタップします。



設定	説明
[開始までの時間]	キーを押し続けたときに、連続した入力を開始するまでの時間を変更します。初期値は [0.8] 秒です。
[間隔時間]	キーを押し続けて連続して入力するときの間隔を変更します。初期値は [0.3] 秒です。

---

# 4

音声ガイドを使う

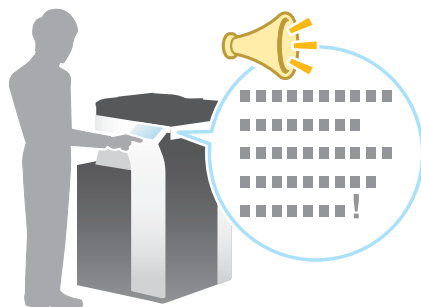
## 4 音声ガイドを使う

音声ガイドは、おもに画面やキーの説明、キーに関連する動作の説明が音声で流れ、操作の補助や誤操作の抑止に役立ちます。画面表示が見にくい方でも、音声によるガイダンスで操作をフォローします。

拡大表示画面、ガイド画面、ユニバーサル設定画面のいずれかを表示して、次の操作を行うと、音声ガイド機能を使うことができます。

- 音声ガイドを押す（オプションのキーパッドを装着している場合）
- 音声ガイド機能を割当てた登録キーを押す

音声ガイドについて詳しくは、「ユーザーズガイド [拡張機能] / [音声ガイドを使う]」をごらんください。



### 参考

- この機能を使うには、オプションの拡張メモリー、LK-104 v3（音声ガイド）、ローカル接続キットが必要です。一部の機種は、拡張メモリーを標準で装備しています。詳しくは、「ユーザーズガイド [本機について] / [オプションの各部の名前とはたらきを確認する]」をごらんください。
- 本機にオプションのキーパッドを装着すると、テンキーで音声ガイドを操作することができます。登録キーへの音声ガイドの割当ては不要です。

## お問い合わせ窓口

■ 製品の仕様・取扱方法やアフターサービスに関するご相談

インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）

平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

■ 消耗品のご注文・お問い合わせ

消耗品受付窓口

0120-176-109

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）

平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

ホームページ <http://www.muratec.jp/ce/>

●この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。